

(仮称)サステナドーム 新築工事

【目次】

建築

- ① 見積区分表・A工事仕様
- ② 計画概要・外部仕上表・内部仕上表
- ③ 求積表
- ④ 全体配置図
- ⑤ 部分配置図
- ⑥ 平面図・天井伏図・法チェック図・基礎リスト
- ⑦ 立面図・断面図
- ⑧ 立面・断面展開図
- ⑨ 矩計図
- ⑩ 外構植栽図

電気設備

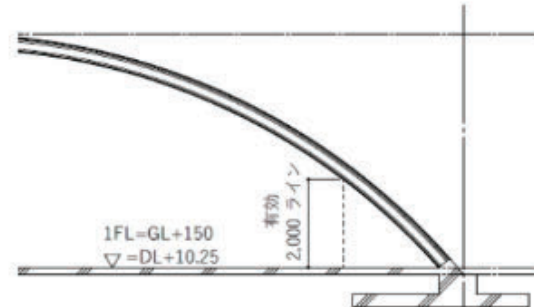
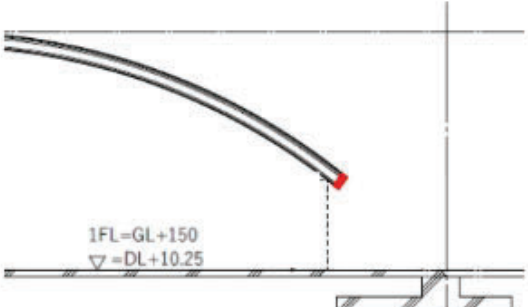
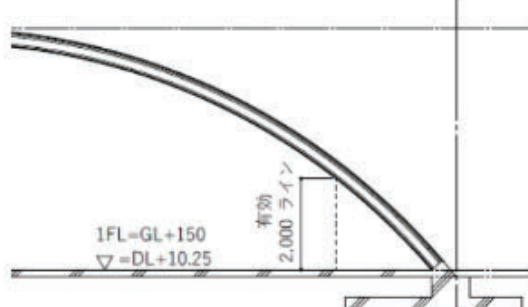
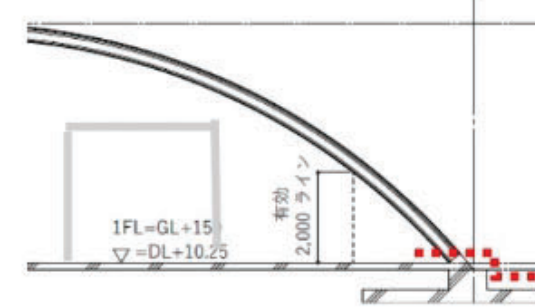
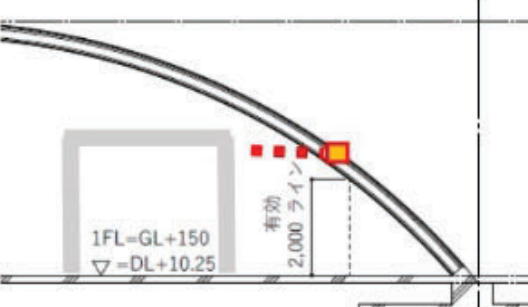
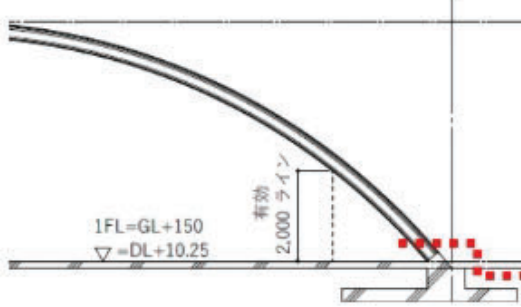
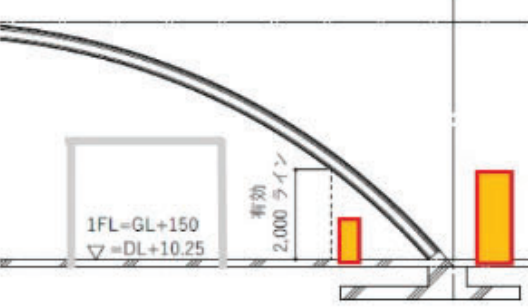

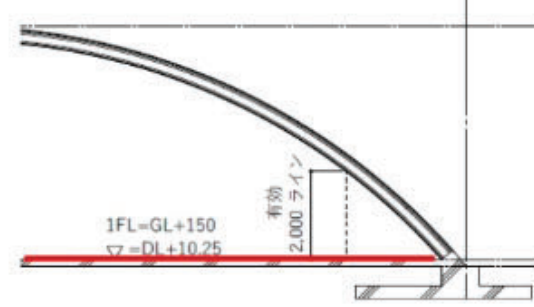
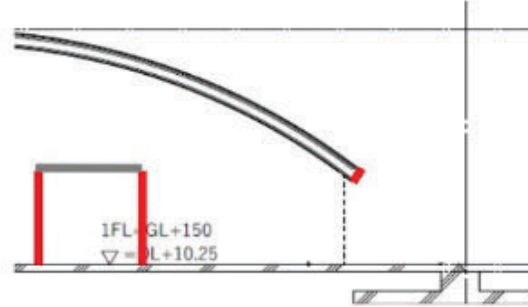
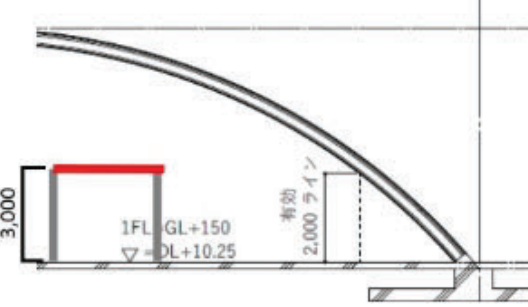
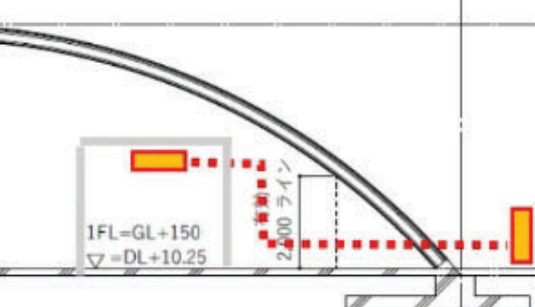
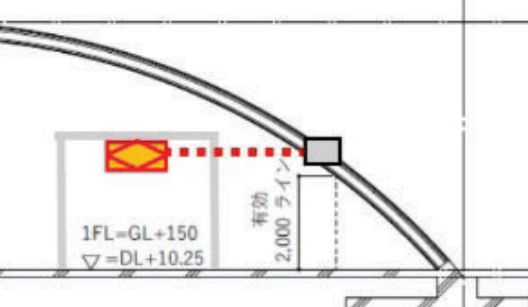
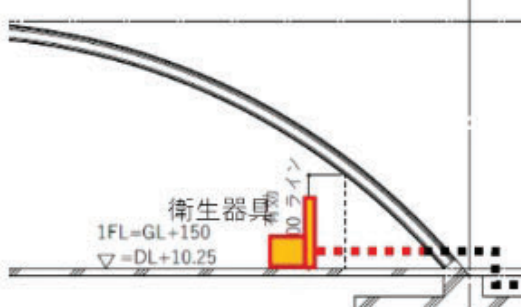
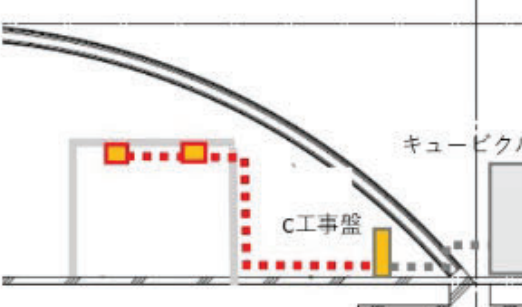
- ⑪ 受変電設備 単線結線図
- ⑫ 受変電設備 外形寸法図
- ⑬ 電気設備 分電盤内容表・照明器具姿図・手元開閉器盤結線図
- ⑭ 電気設備 幹線・動力・非常警報・誘導灯設備平面図

空調衛生設備

- ⑮ 空調設備 平面図・換気風量表
- ⑯ 衛生設備 平面図・機器表・器具表

2024年3月

■(仮) CUCO-SUICOMドーム 設計及び施工区分（費用負担区分）（案）

	建築工事							設備工事		その他	
	床	壁	天井	空調	換気	衛生	消火	電気	サイン	申請等	
A工事 (鹿島)	<ul style="list-style-type: none">・RC素地(床下げは可能) 	<ul style="list-style-type: none">・ドーム面：素地・確認申請時：躯体のみ・出入口の雨水用水切金物 	<ul style="list-style-type: none">・ドーム面：素地・天井仕上げなし 	<ul style="list-style-type: none">・屋外機設置スペース・ドレン配管は、テナント区画内突き出しまで 	<ul style="list-style-type: none">・給排気ガラリ、チャンバーボックス、ダクト突出し（常時開放状態）まで・A工事による機械換気設備の設置は免除する。 （建築基準法上は自然換気、シックハウスは国土交通省告示適用） 	<ul style="list-style-type: none">・給水排水通気配管は、テナント区画内突き出しまで・建物外周部、設備置場にメンテナンス用散水栓 	<ul style="list-style-type: none">・屋外消火栓（大部屋仕様）・消火器（大部屋仕様） 	<ul style="list-style-type: none">・受変電、受変電までの一次側配管・共用分電盤・誘導灯・非常警報設備 	<ul style="list-style-type: none">・法的サイン・協賛特典サイン・館名サイン <p>○ (仮設、確認申請)</p>		
C工事 (運営者)	<ul style="list-style-type: none">・仕上げ(カーペット等)・OA床等レベル調整 <p>※避難安全検証法適用により、仕上材は不燃材使用</p> 	<ul style="list-style-type: none">・間仕切り：PB t12.5 両面貼り ビニールクロス（不燃） 両面吸音吸音パネル フェルトボード フェルメノン同等品・便所ブース・出入口安全対策(ゴム等) <p>※避難安全検証法適用により、仕上材は不燃材使用</p> 	<ul style="list-style-type: none">・天井下地：鉄骨H-300さび止め <p>※避難安全検証法適用により、仕上材は不燃材使用</p> 	A工事以降の全工事 <ul style="list-style-type: none">・室外機用の簡易基礎・室外機、室内機・冷媒管、ダクト、制気口 等 	A工事以降の全工事 <ul style="list-style-type: none">・全熱交換器・冷媒管、ダクト、制気口 等 	A工事以降の全工事 <ul style="list-style-type: none">・衛生器具、給湯設備 等 	なし (A工事の移設、増設に関する工事はB工事)	<ul style="list-style-type: none">・館内放送設備・トイレ非常呼出設備・音声誘導設備・警報盤・緊急情報表示設備・C工事電灯盤、C工事動力盤・照明設備・動力設備・コンセント設備・電話、LAN設備・テレビ設備・監視カメラ設備・機械警備設備・その他A工事以外の全工事 	特殊サイン <ul style="list-style-type: none">・床面積が増えなければ、増築申請不要・設備機器の吊物は全て構造設計者に確認を要する		

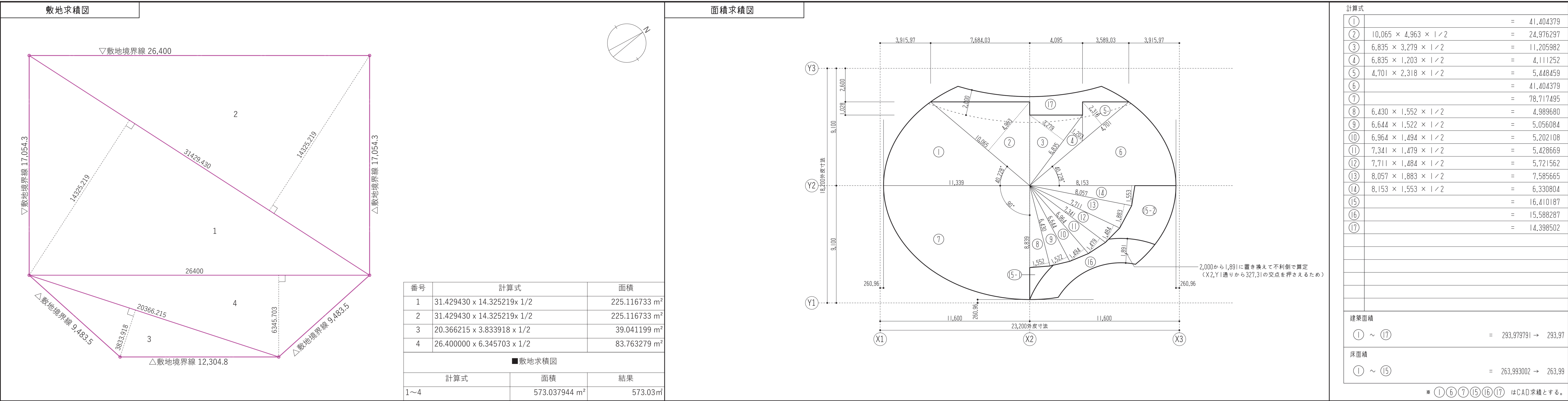
■A工事の仕様

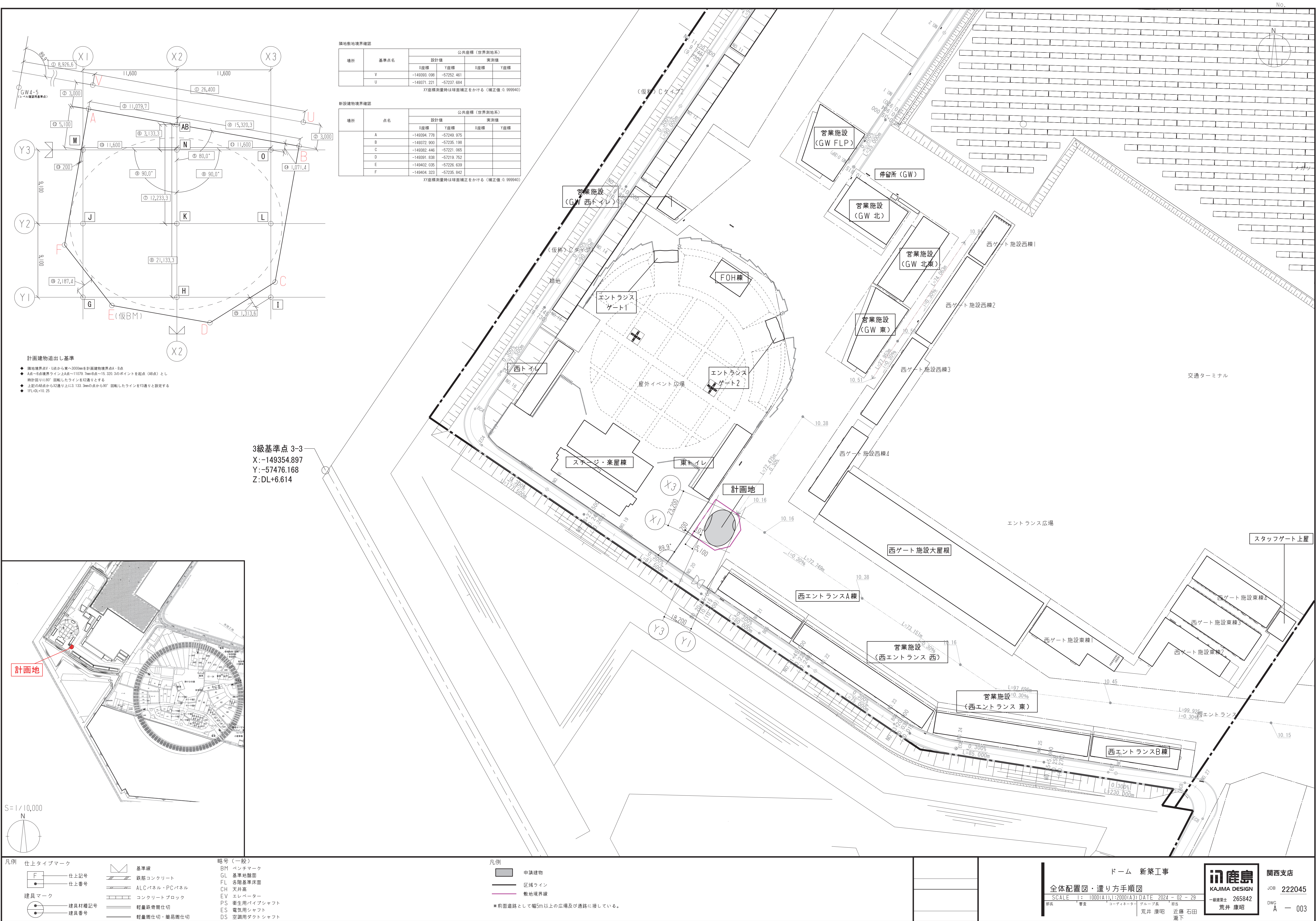
建物名	業種	種類詳細	区画面積・席数・客単価		電気設備		給排水・衛生設備			ガス設備	給排気設備			空調設備	備 考 欄
			面積 (㎡)	厨房 想定面積 (㎡)	電 灯	動 力	給水	厨房雑排水	汚水排水	プロパンガス	一般排気	厨房排気	外気		
					総容量 (KVA)	総容量 (KVA)									
CUCO-SUICOMドーム	環境教育	(厨房設定不可)	263.99	-	200.00	50.00	有	-	有	-	有 ファンC工事	-	排気に準ずる	C工事 【EHPタイプ】	
					電灯+動力で最大200kW										

工事概要		(選択項目のうち●印は適用し、○印は適用しない)				※：2025年 日本国際博覧会における建築基準法85条6項による緩和	
工 事 名 称		CUCO-SUICOMドーム 新築工事				案内図（最寄駅・目標となる建物名・道路等を記入する）	
工 事 場 所		地名地番 大阪府大阪市此花区夢洲東1丁目地先（2025年日本国際博覧会_会場内） 住居表示 大阪府大阪市此花区夢洲東1丁目					
敷 地 面 積		○実測 ○公簿 573.03 ㎡ 境界確定 ○済 ○未了 ○官-民 ○民-民 測定日 年 月 日 測定者 日本国際博覧会協会より受領データを使用					
敷地概要	地 域 地 区	用途地域：準工業地域			容積率 % 200 70※ 加重平均 建ぺい率%		
	高度地区：						
	防火地域：○防火地域 ●準防火地域 ○指定なし						
	*前面道路	幅5m以上の広場及び通路と接する					
	*日影規制	○有 ●無 5～10m 時間 10m以上 時間 真北測定者					
	*騒音規制	●有 ○無 万博敷地全体の境界で測定					
	排水規制	○有 ●無 下水放流（○可 ○不可） 浄化槽（○単独 ○合併） 放流水質基準（ ）					
	その他設計条件	気候区分：6地域 1時間最大降水量：180mm/h 10分間最大降水量：30mm/10min 積雪量：21cm 地下水位： — m 凍結深度： — m 近隣施設：2025年日本国際博覧会敷地内、大阪メトロ夢洲駅（2024年完成）、下部廃棄物処理場					
	工 事 種 別	●新築 ○増築 ○改築 ○移転					
	工 期	着工 2024年 04 月 15 日 竣工 2024年 11 月 13 日 予定					
工 事 範 囲	建築工事（●仕上 ●躯体 ●外構） 設備工事（●電気 ●衛生 ○空調 ○昇降機等 ○生産施設関連） ●外構工事 ○インテリア工事 ○造成工事 ●解体撤去工事						
別 途 工 事	見積区分表による。スイコムベンチ その他設計図書に記載のない工事						
確認・許認可申請等	●建築確認申請 ○構造計算適合性判定 ○省エネ適合性判定 ●（仮設計可申請、建築技術安全審査（日本総合試験所：施設安全審査小委員会）） ○避難安全検証〔○階（階）○全館 ○ルートB ○ルートC〕：適用除外規定（ ）						

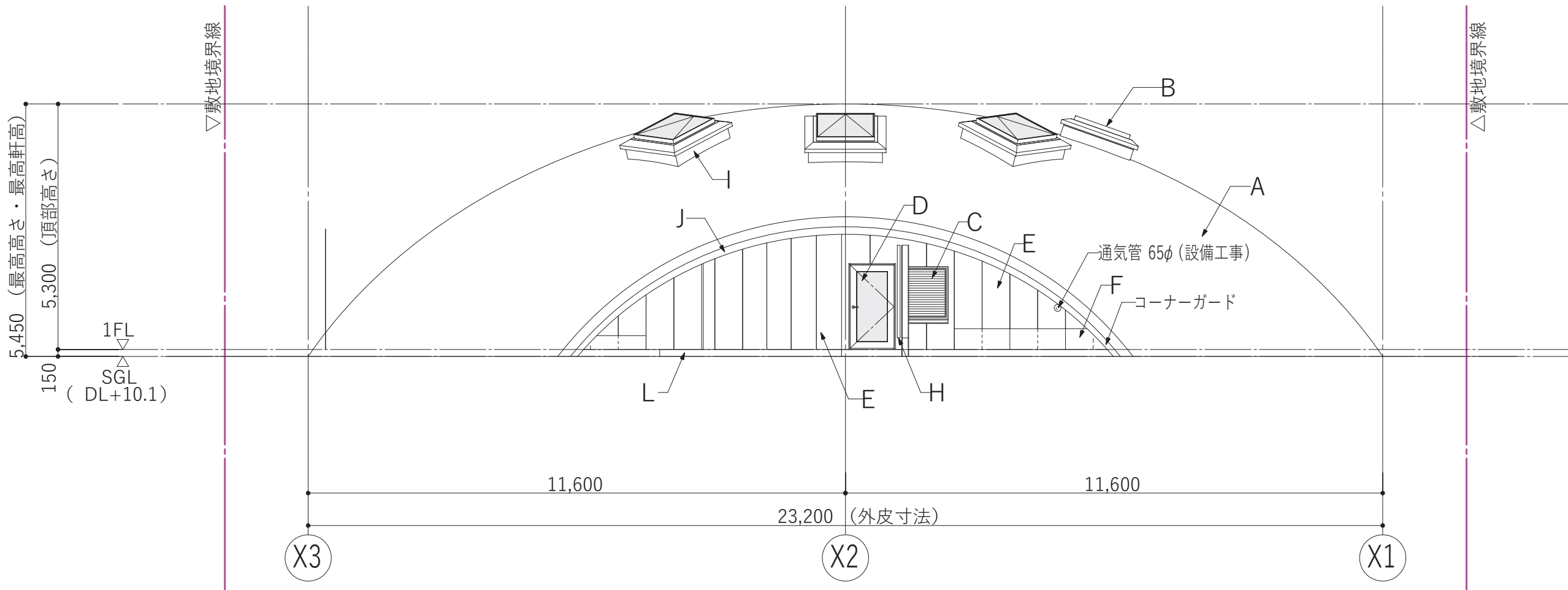
建物概要										
(選択項目のうち●印は適用し、○印は適用しない)										
諸元	主 要 用 途		サービス店舗（一時預かり所）							
	建 築 基 準 法	○耐火建築物 ○準耐火建築物（○ロ-2 ○ ）○（ ）●指定なし								
		○法別表第Ⅰ（ ）欄（ ）項の特殊建築物								
		○定期報告を要する建築物等（法第12条・平20国交告282～285、平28国交告723）								
		無窓居室： ○有 ●無 ○避難 ○採光 ○換気 ○排煙								
		内装制限： ○有 ●無								
		特定天井： ○有（内部仕上表参照） ●無								
	消 防 法	防火対象物： 令別表第Ⅰ 6 項 ハ（3） 無窓階： ●有 ○無								
		○防災防火対象物（令第4条の3）								
	建 ぺ い 率	51.31 % ≦ 許容建ぺい率 70 %								
容 積 率	46.47 % ≦ 許容容積率 200 %									
建 築 面 積	合計 293.97 ㎡									
容積対象延床面積	合計 263.99 ㎡									
延 床 面 積	合計 263.99 ㎡									
主 要 構 造	●RC ○SRC ○S ○（ ）									
階 数	地下 一 階 地上 1 階 塔屋 一 階									
高 さ	軒高 5,450 m 建物高さ 5,450 m 最高高さ 5,450 m									
駐 車 台 数	一 台 ≧ 付置義務台数 一 台									
設備概要	建 築 概 要	杭 ・ 基 礎	直接基礎							
		屋 根	仕上：ポリ塩化ビニル（PVC）膜 下地：RC							
		外 壁	仕上：ポリ塩化ビニル（PVC）膜 下地：RC							
		開 口 部	アルミサッシ							
		主要内部仕上	ホール 床：RC金こて仕上げ 壁：RC金こて仕上げ 天井：屋根裏表し							
	そ の 他	防火区画は発生しない								
	設 備 概 要	電 気	受変電、防災、照明設備							
		衛 生	衛生器具、給水、排水、消火							
		空 調	換気							
昇 降 機		－								
そ の 他										

床面積表							(㎡)
階	容積対象床面積	容積対象外床面積	法定延床面積				合 計
I階	263.99	0.00	263.99				263.99
合 計	263.99 ㎡	0.00 ㎡	263.99 ㎡				263.99 ㎡
建築面積							293.97 ㎡

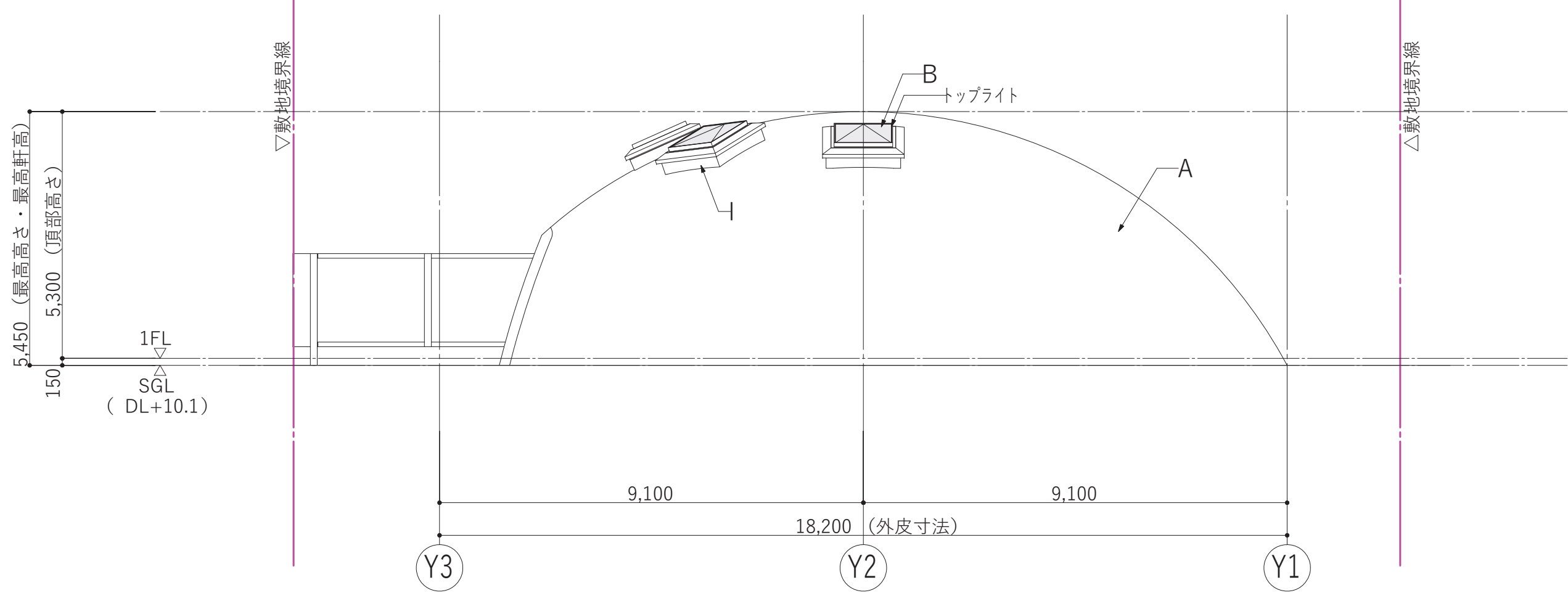




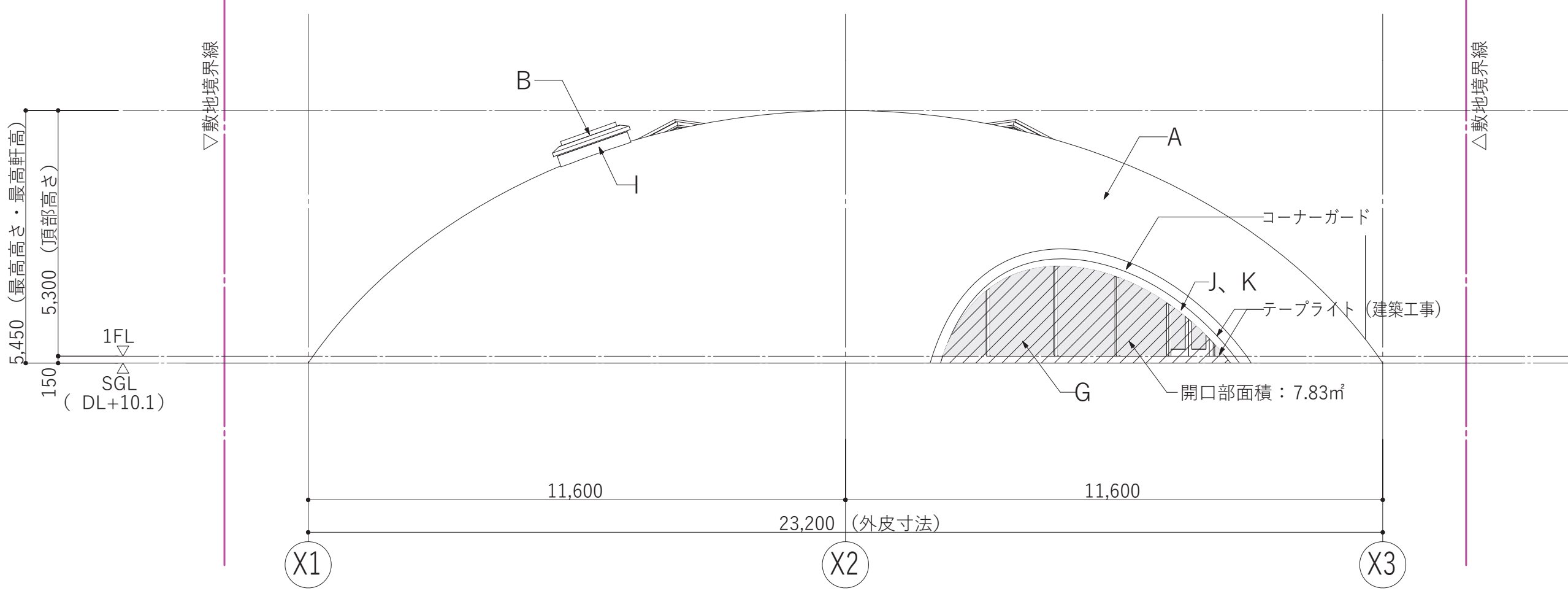
[illegible]



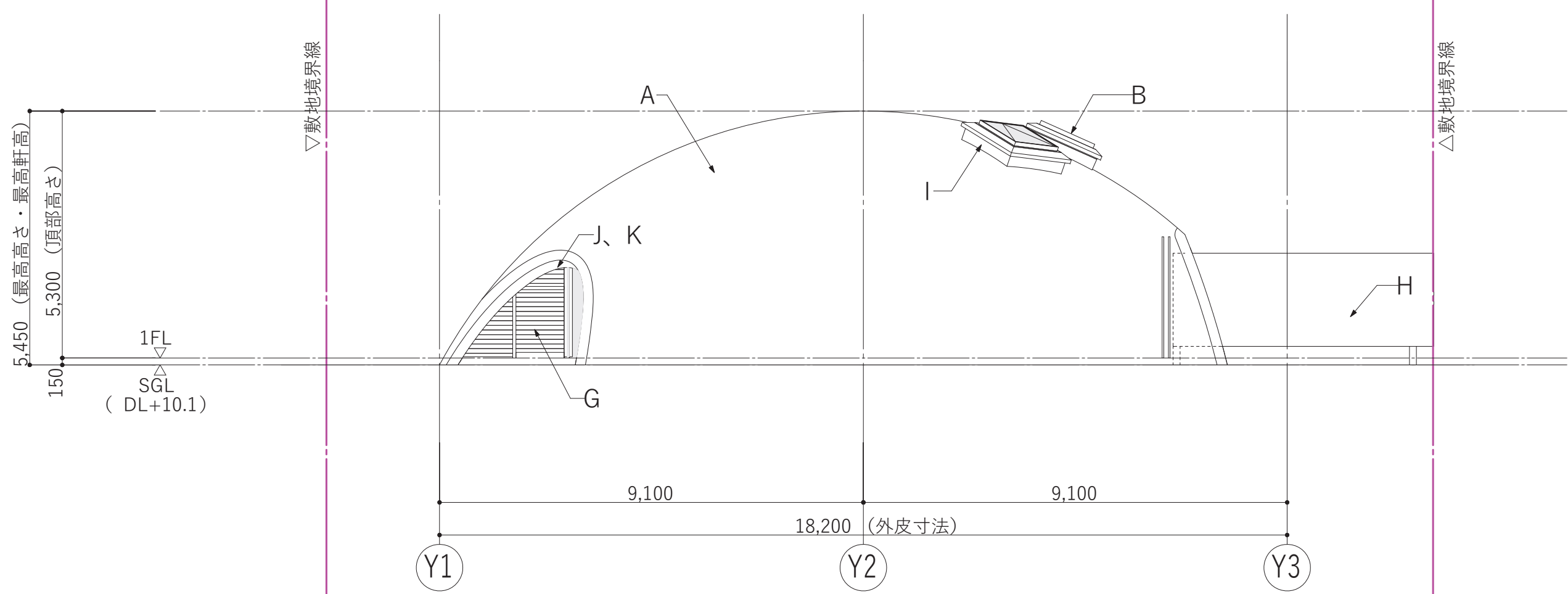
西立面図



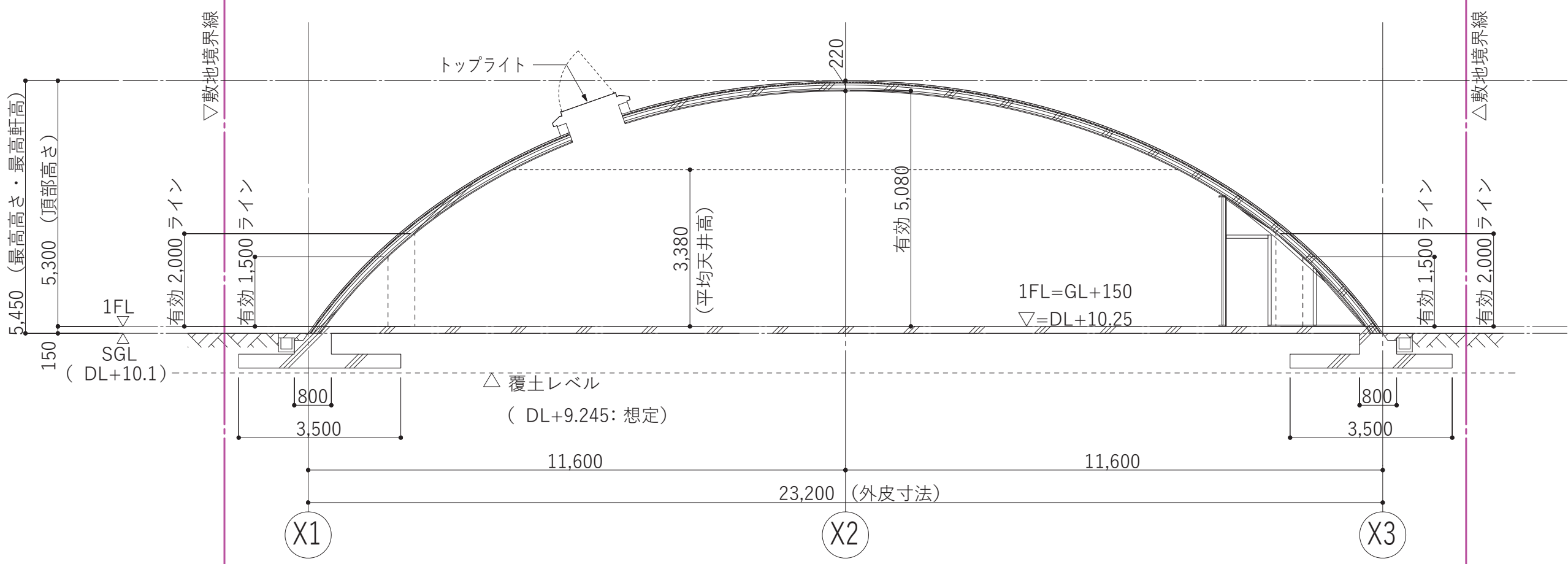
南立面図



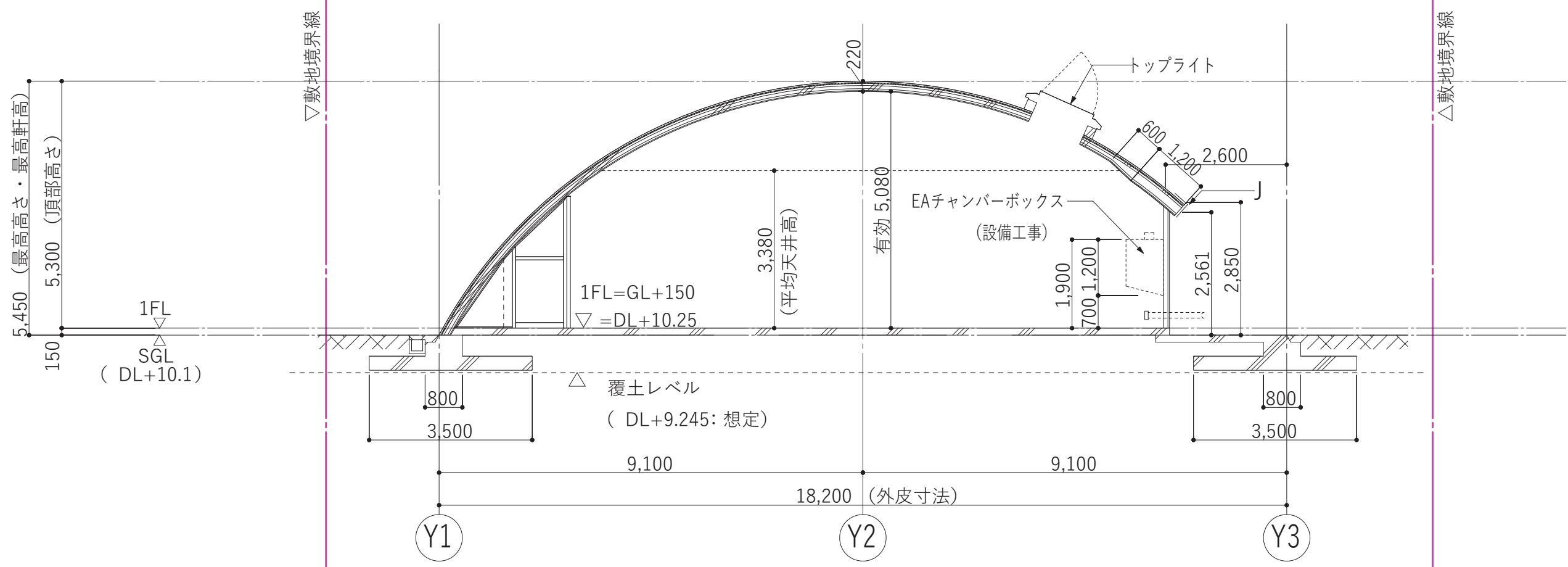
東立面図



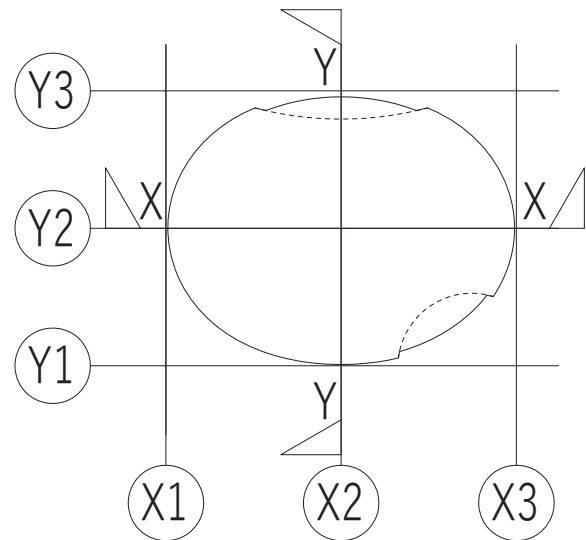
北立面図



X-X断面図



Y-Y断面図



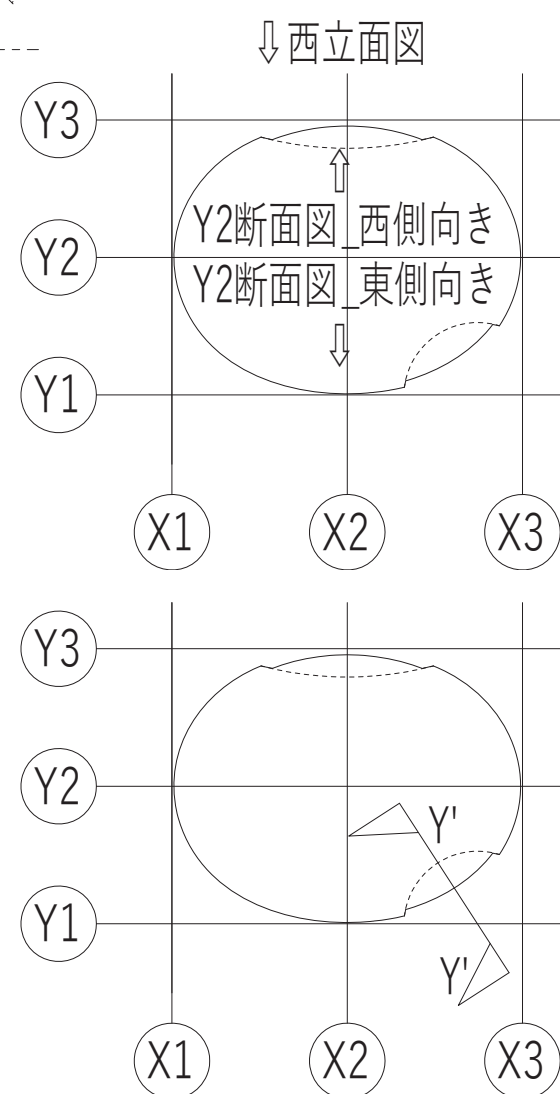
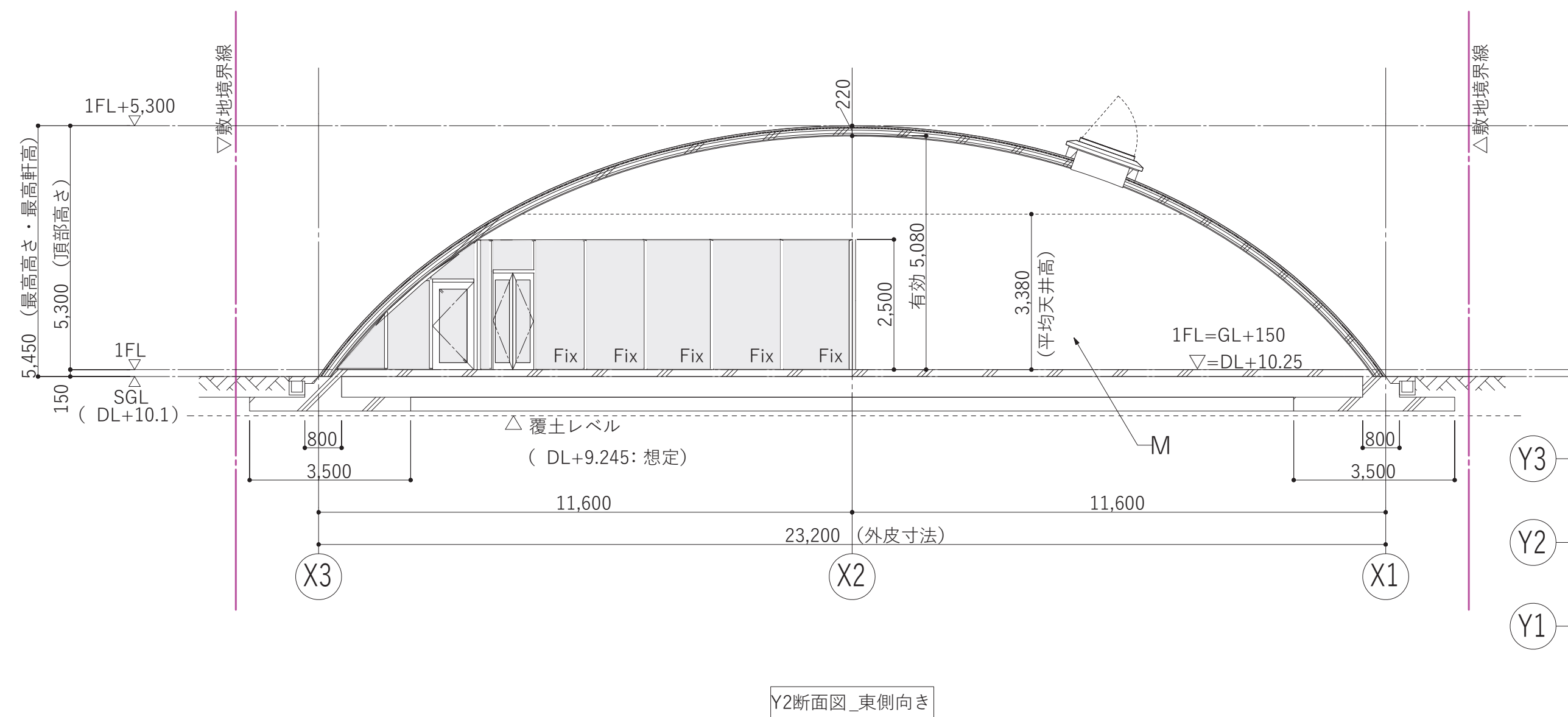
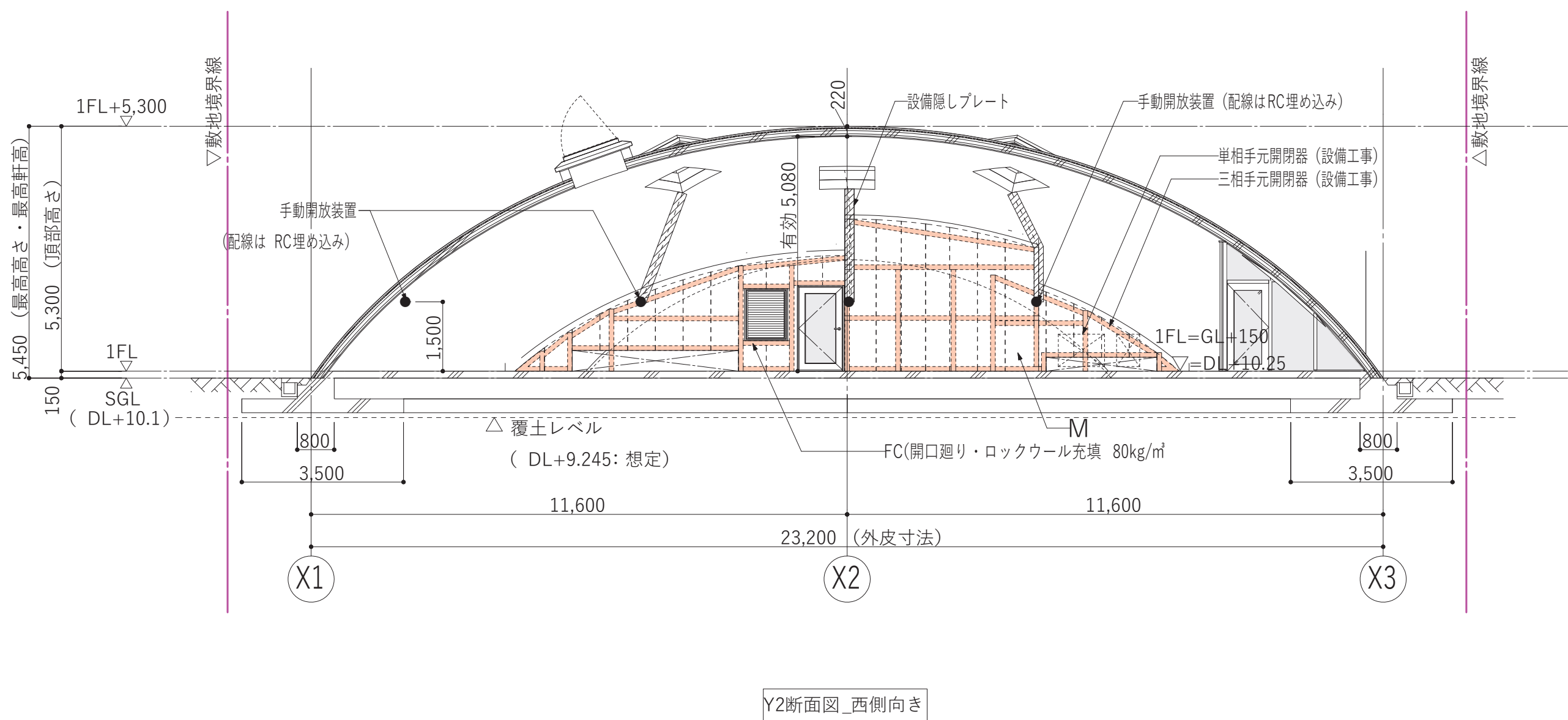
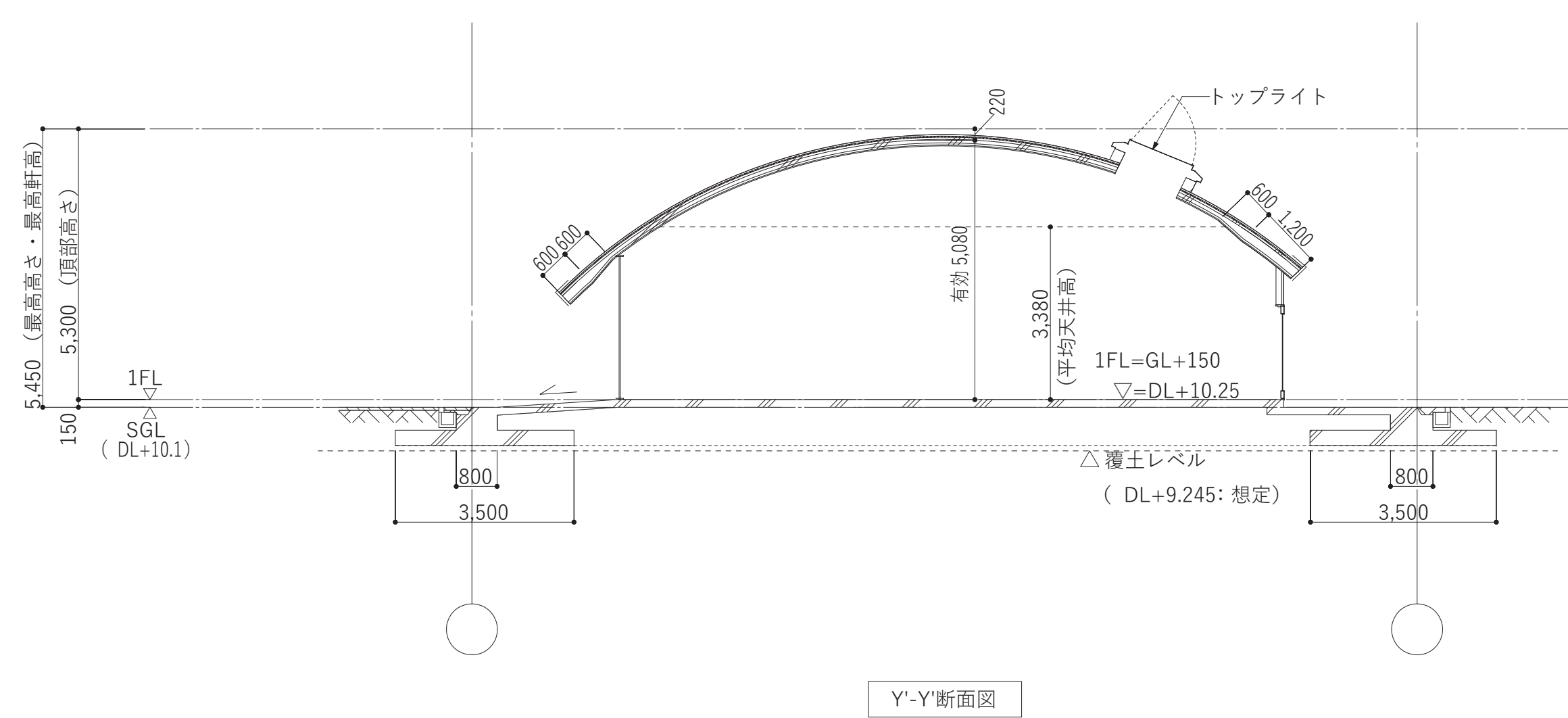
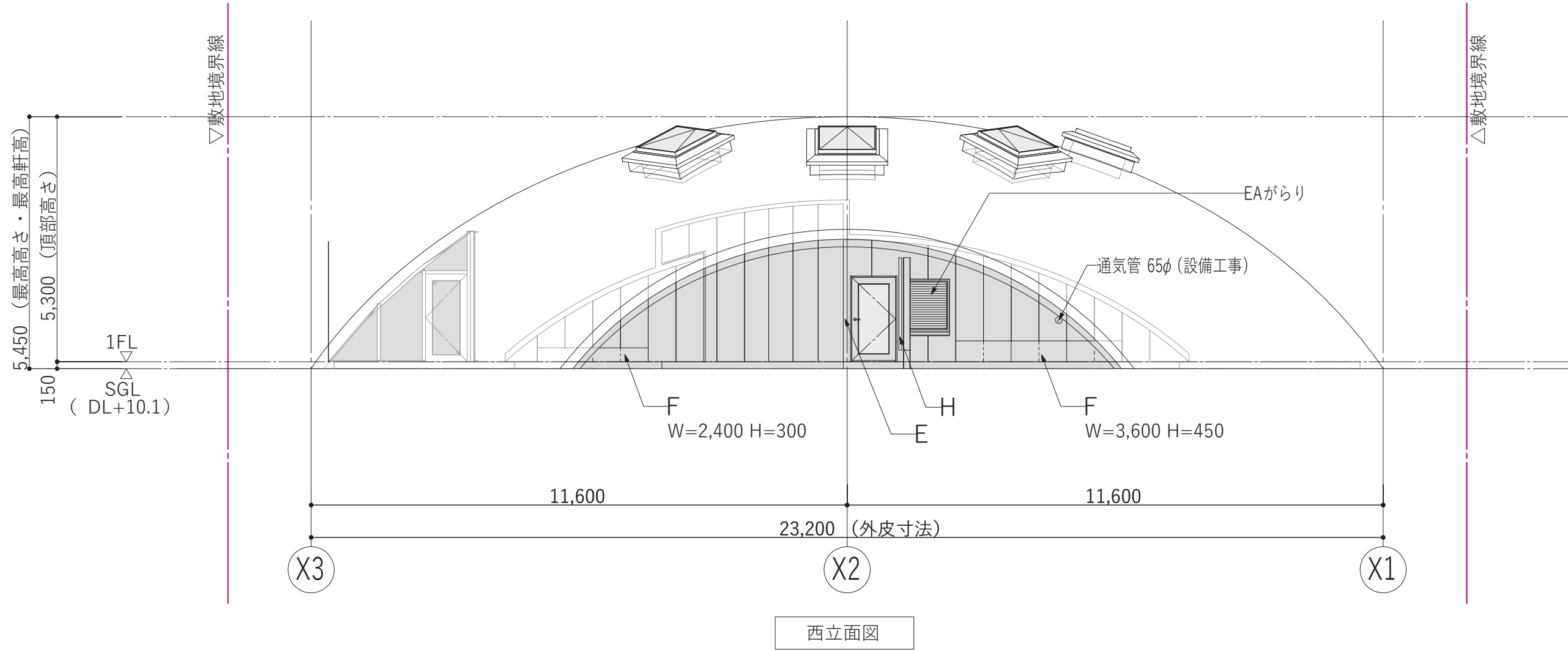
※平均天井高
体積：837㎡ / 床面積：247㎡ = 3.38m
SGL=令第2条第2項による地盤面

凡例	仕上タイプマーク	略号 (一般)
<div><div>F</div><div>仕上記号</div><div>仕上番号</div></div>	<div><div>基準線</div><div>鉄筋コンクリート</div><div>ALCパネル・PCパネル</div><div>コンクリートブロック</div><div>軽量鉄骨間仕切</div><div>軽量間仕切・簡易間仕切</div></div>	<div><div>BM</div><div>ベンチマーク</div><div>GL</div><div>基準地盤面</div><div>FL</div><div>各階基準床面</div><div>CH</div><div>天井高</div><div>EV</div><div>エレベーター</div><div>PS</div><div>衛生用パイプシャフト</div><div>ES</div><div>電気用シャフト</div><div>DS</div><div>空調用ダクトシャフト</div></div>

A	屋根：ポリ塩化ビニル (PVC) 膜 pvdf仕上 +塩ビ製インクジェットメディア貼	D	出入口 (西) : AL BB-2種	H	サイン壁：H=2400	K	安全対策保護材：CSMゴム (クロロスルホン化ポリエチレンゴム) (C工事)
B	排煙トップライト	E	外壁 (西側開口部) : AL断熱サンドイッチパネル t=35 縦張	I	頂部基礎：ウレタン塗膜防水	L	根廻り：防水型複層塗材E (JIS A6021) 伸縮目地 25×20 @1,500内外
C	アルミがらり：AL BB-2種	F	設備開口：AL 樹脂積層板	J	躯体開口部枠：St 3.2、2.3 焼付塗装	M	内壁：GB-R t=12.5
		G	出入口 (東) : AL BB-2種				

ドーム 新築工事
立面図・断面図
SCALE 1: 100 (A1), 200 (A3) DATE 2024-02-29
部長 審査 1コーディネーター 荒井 康昭 近藤 石田 瀬下

関西支店
JOB 222045
DWG A-006
一級建築士 265842
荒井 康昭



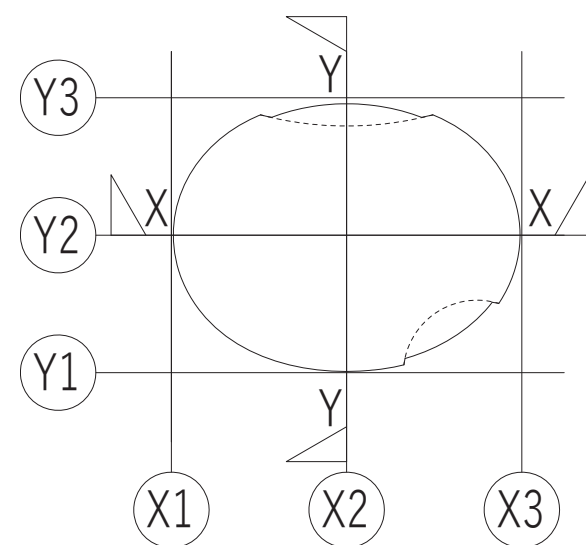
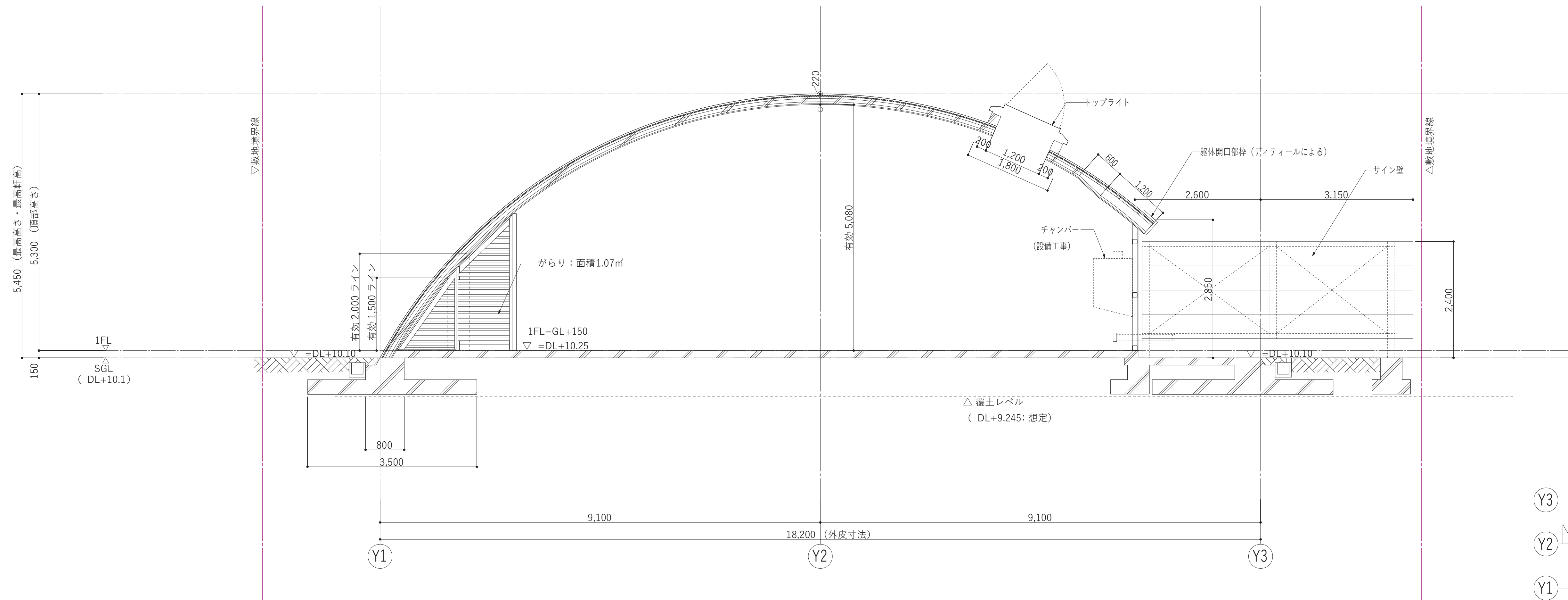
※平均天井高
体積：837㎡ / 床面積：247㎡ = 3.38m
SGL=令第2条第2項による地盤面
Eの支持鉄骨 100角
Fの下部： [-100×50×20×2.3
上部： L-40×40×3、タテ：L-40×40×3@600 程度


凡例	仕上タイプマーク	略号 (一般)
<div><div>F</div><div>仕上記号</div><div>仕上番号</div></div>	<div><div>基準線</div><div>鉄筋コンクリート</div><div>ALCパネル・PCパネル</div><div>コンクリートブロック</div><div>軽量鉄骨間仕切</div><div>軽量間仕切・簡易間仕切</div></div>	<div><div>BM ベンチマーク</div><div>GL 基準地盤面</div><div>FL 各階基準床面</div><div>CH 天井高</div><div>EV エレベーター</div><div>PS 衛生用パイプシャフト</div><div>ES 電気用シャフト</div><div>DS 空調用ダクトシャフト</div></div>


A 屋根：ポリ塩化ビニル (PVC) 膜 pvdf仕上	D 出入口 (西)：AL BB-2種	H サイン壁：H=2400	K 安全対策保護材：CSMゴム (クロロスルホン化ポリエチレンゴム)
+塩ビ製インクジェットメディア貼	E 外壁 (西側開口部)：AL断熱サンドイッチパネル t=35 縦張	I 頂部基礎：ウレタン塗膜防水	(C工事)
B 排煙トップライト	F 設備開口：AL 樹脂積層板	J 躯体開口部枠：St 3.2、2.3 焼付塗装	L 根廻り：防水型複層塗材E (JIS A6021) 伸縮目地 25×20 @1,500内外
C アルミがらり：AL BB-2種	G 出入口 (東)：AL BB-2種	M 内壁：GB-R t=12.5	

ドーム 新築工事
立面・断面展開図
SCALE 1: 100 (A1), 200 (A3) DATE 2024-02-29
部長 審査 一級建築士 荒井 康昭 近藤 石田 瀧下

関西支店
JOB 222045
DWG A-007



凡例		略号（一般）	
	仕上タイプマーク		基準線
	仕上記号		鉄筋コンクリート
	仕上番号		ALCパネル・PCパネル
	建具マーク		コンクリートブロック
	建具材種番号		軽鋼鉄骨間仕切
	建具番号		軽鋼間仕切・簡易間仕切
			BM ベンチマーク
			GL 基準地盤面
			FL 各階基準床面
			CH 天井高
			EV エレベーター
			PS 衛生用パイプシャフト
			ES 電気用シャフト
			DS 空調用ダクトシャフト

<p>トーム 新築工事</p>		 <p>関西支店</p>	
<p>概計図</p>		<p>JOB 222045</p>	
<p>SCALE 1: 50 (A1), 100 (A3) DATE 2024-02-29</p>		<p>一級建築士 265842</p>	
<p>部長</p>	<p>審査</p>	<p>グループ長</p>	<p>担当</p>
	<p>コーディネーター</p>	<p>荒井 康昭</p>	<p>近藤 石田 遼下</p>
		<p>荒井 康昭</p>	
		<p>A-008</p>	

■外構植栽（高中木）凡例

記号	名称	寸法			単位	備考
		H	C	W		
ウ2	ウバメガシ 株立	2.0	3本立	1.0	本	地下支柱・酸素管3本共
や4	ヤマボウシ 株立	4.0	3～4本立	2.0	本	シンボル樹形 地下支柱・酸素管3本共
さ5	サトザクラ	5.0	0.3	2.5	本	地下支柱・酸素管3本共

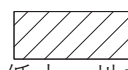

■特記事項

- ・植栽基盤調査を行うこと。調査箇所は監督員と協議の上、決定すること。
- ・調査項目は下記の項目を行うこと。
- ①土壌硬度(長谷川式土壌貫入計を用いて、現場にて調べる。)
- ②透水性(長谷川式簡易透水試験器を用いて、現場にて透水性を調べる。)
- ③土壌の性質(長谷川式大型検土杖を用いて深さ1mまで断面を調べる。)
- ④酸度(簡易pH計により、試掘した際の土壌で調べる。)
- ⑤電気伝導度(EC測定により阻害物質の有無を調べる。)
- ・その他、上記の調査で異常値が出た場合は、監督員と協議の上、対応方法を検討すること。
- ・上層客土厚は下表を参考とし、上記調査で異常値が出なかった場合に限り、既存の土壌のガラ・レキを撤去の上、良質土を再利用する。客土は、現地発生土：真珠岩系バーライト：パーク堆肥=7:1:2とする。
- 下層客土厚は下表を参考とし、既存の土壌を耕耘して排水性と土壌硬度を適切なものとする。

有効土層	高木(3～7m)	高木(7～12m)
上層	40cm	60cm
下層	20～40cm	20～40cm

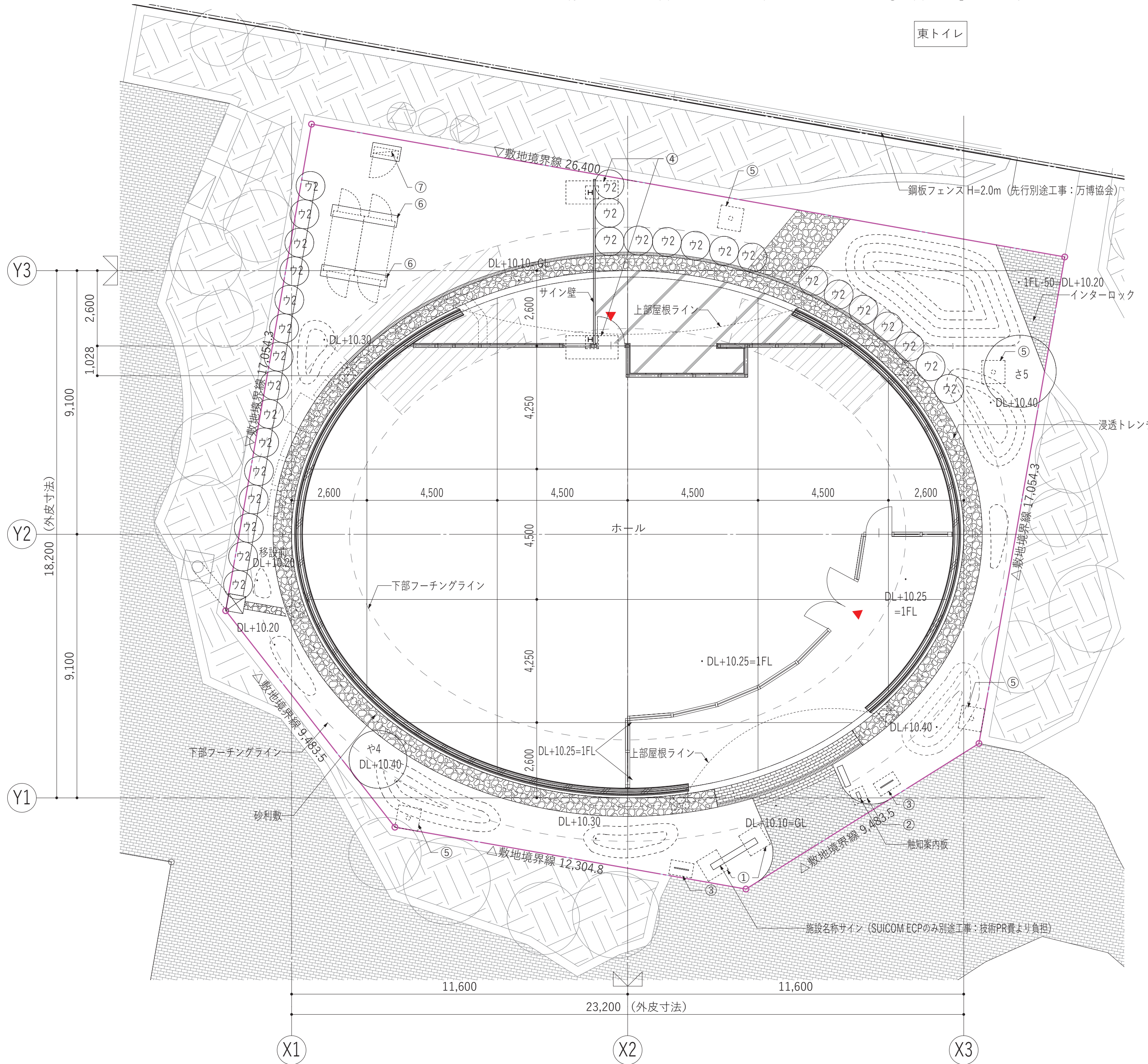
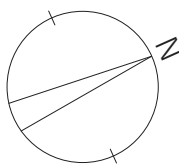
- ・樹木配置は現地にて監督員の立会いの下、決定すること。
 - ・樹木は現地材料検査を実施の上、決定すること。
 - ・すべての高中木に地下式支柱を設けること。
- 材料は、東邦レオ(株)：
- H ー3.0m：G・フィット同等品以上
- H3.0～4.0m：フィットスーパーマグ(MG-1)同等品以上
- H4.0～5.5m：フィットスーパーマグ(MG-2)同等品以上
- H5.5～7.0m：フィットスーパーマグ(MG-3)同等品以上
- ・特記なきものは「国土交通省土木工事標準積算基準書 V-1-①公園植栽工」に準ずる。

■外構植栽（低木・地被）凡例

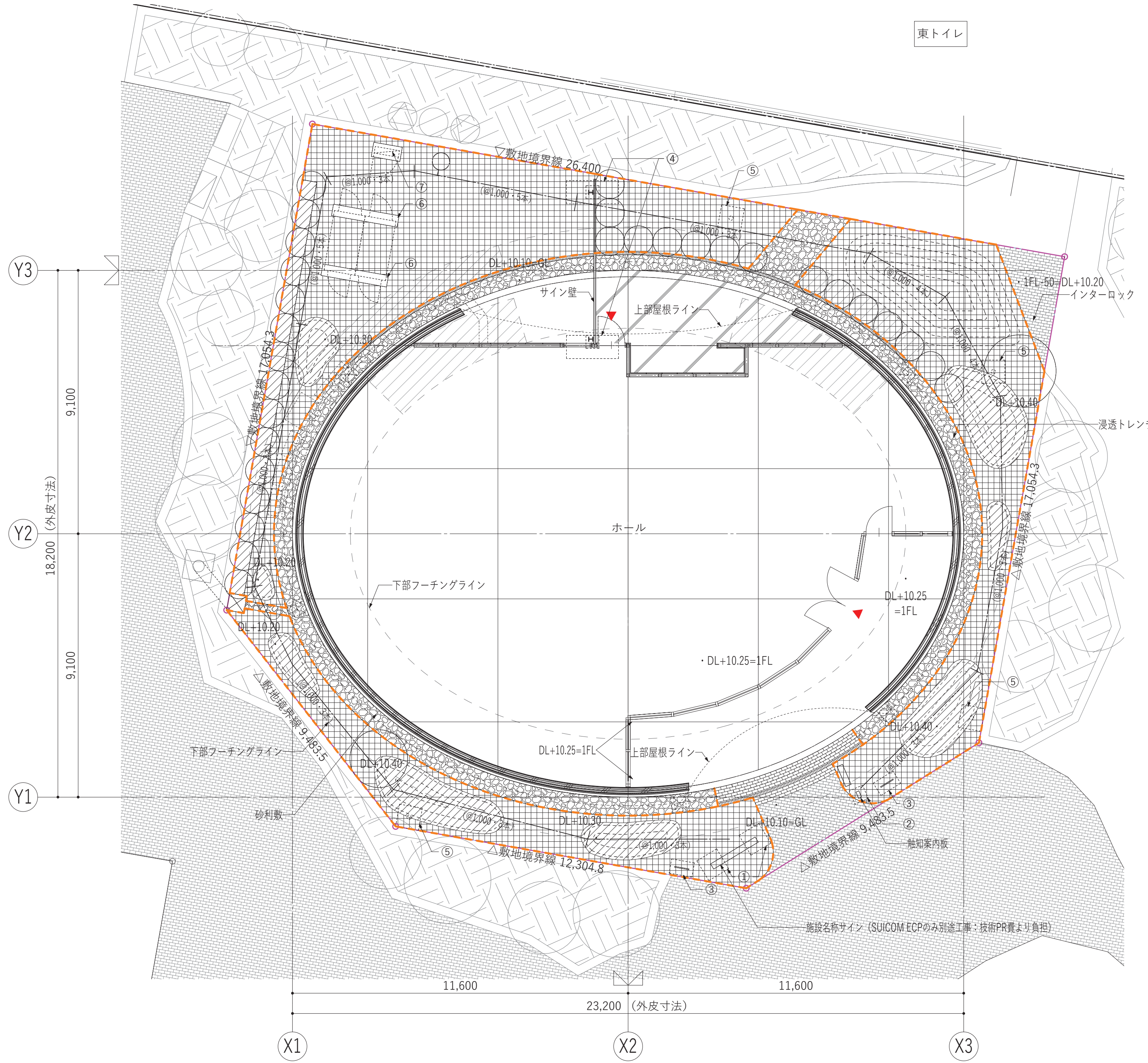
記号	名称	寸法			面積割合 (%)	単位	備考
		H	C	W			
	ビバーナム・シナモミフォーリウム	0.3	-	0.25	40	m2	16株/m2
	アガパンサス	-	-	-	15	m2	36pot/m2
	カレックス	-	-	-	15	m2	12cm pot
	ナンテン	-	-	-	15	m2	
	フジバガマ	-	-	-	15	m2	
	ジャノヒゲ	-	-	-	20	m2	36pot/m2
	ノシバ	-	-	-	80	m2	大判ネット付ノシバ 日本植生(株)キョーリョッカ21 同等品以上

■特記事項

- ・上層土厚は下表を参考とし、現況土を土壌改良の上、流用すること。
 - ただし、現況土が流用可能な土質が調査の上、監督員に承認を得た上で流用すること。
 - 改良は、現況土：真珠岩系バーライト：パーク堆肥=7:1:2とする。
 - 下層土厚は下表を参考とし、既存の土壌は耕耘して排水性と土壌硬度を適切なものとする。
- | | | |
|------|---------|----------|
| 有効土層 | 芝・地被植物 | 低木(3m以下) |
| 上層 | 20～30cm | 30～40cm |
| 下層 | 10cm以上 | 20～30cm |
- ・植栽地における植栽客土が露出する箇所については、火山砂利マルチングを行うこと。(t=30)
 - ・マルチングはサンプルを提出し、監督員の承認を得ること。
 - ・特記なきものは「国土交通省土木工事標準積算基準書 V-1-①公園植栽工」に準ずる。
 - ・「低木・地被（混植）」上には、ドリップチューブ（（株）カクダイ 573-52 同等品）を1.0m間隔で敷設。給水引込に接続、又は分岐に必要な部品を全て含む。



植栽図（高木・中木）



植栽図（低木・地被）

- 舗装凡例
- ：土間コンクリート
 - ：インターロック
 - ：砂利
 - ：下部EPS
 - ：スチールエッジ
 - ：ドリップチューブ

ドーム 新築工事

外構図（2）植栽図（高木・中木・低木・地被）

SCALE 1：100 (A1), 200 (A3) DATE 2024-03-01

部長 審査 コーディネーター 荒井 康昭

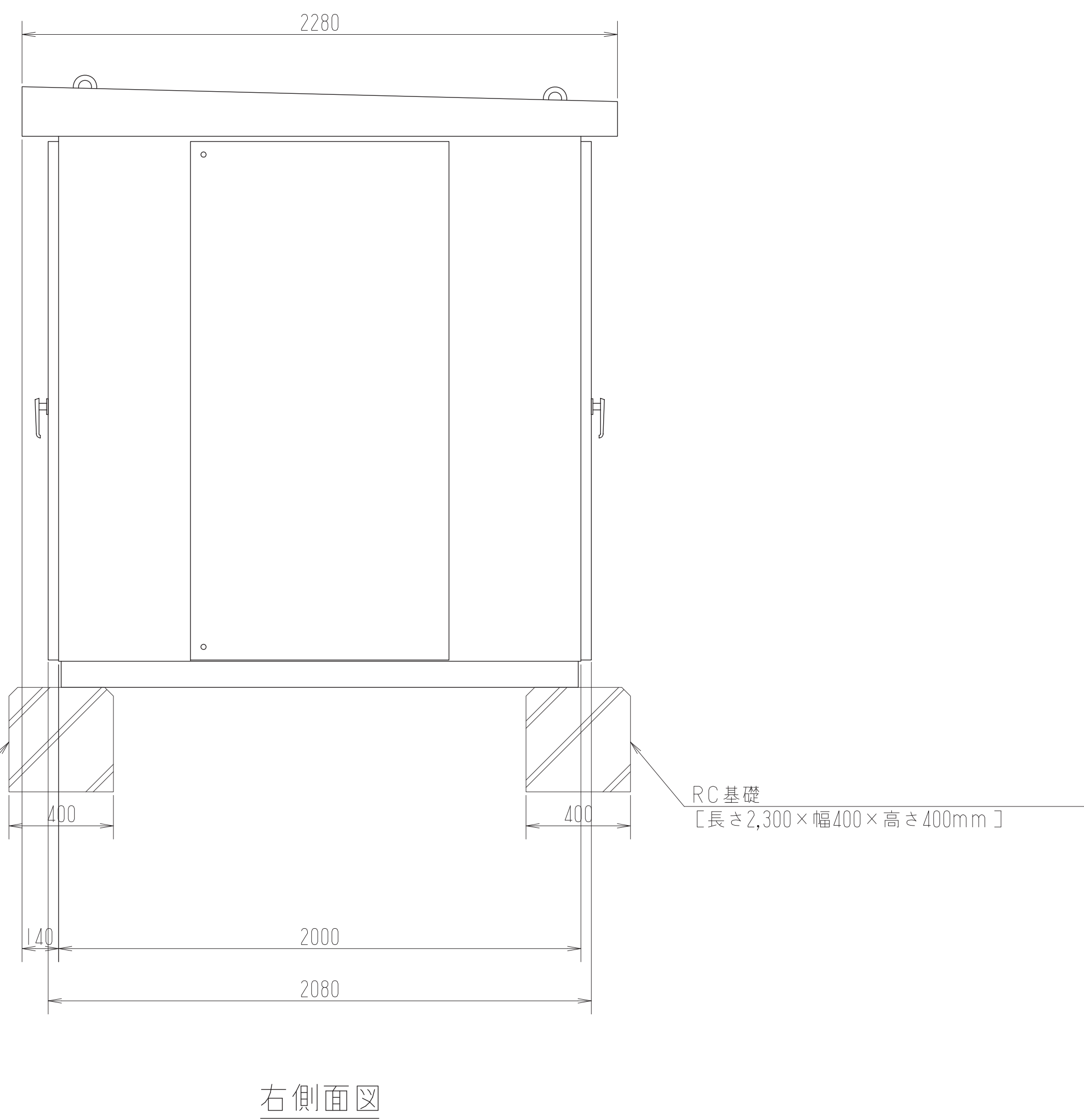
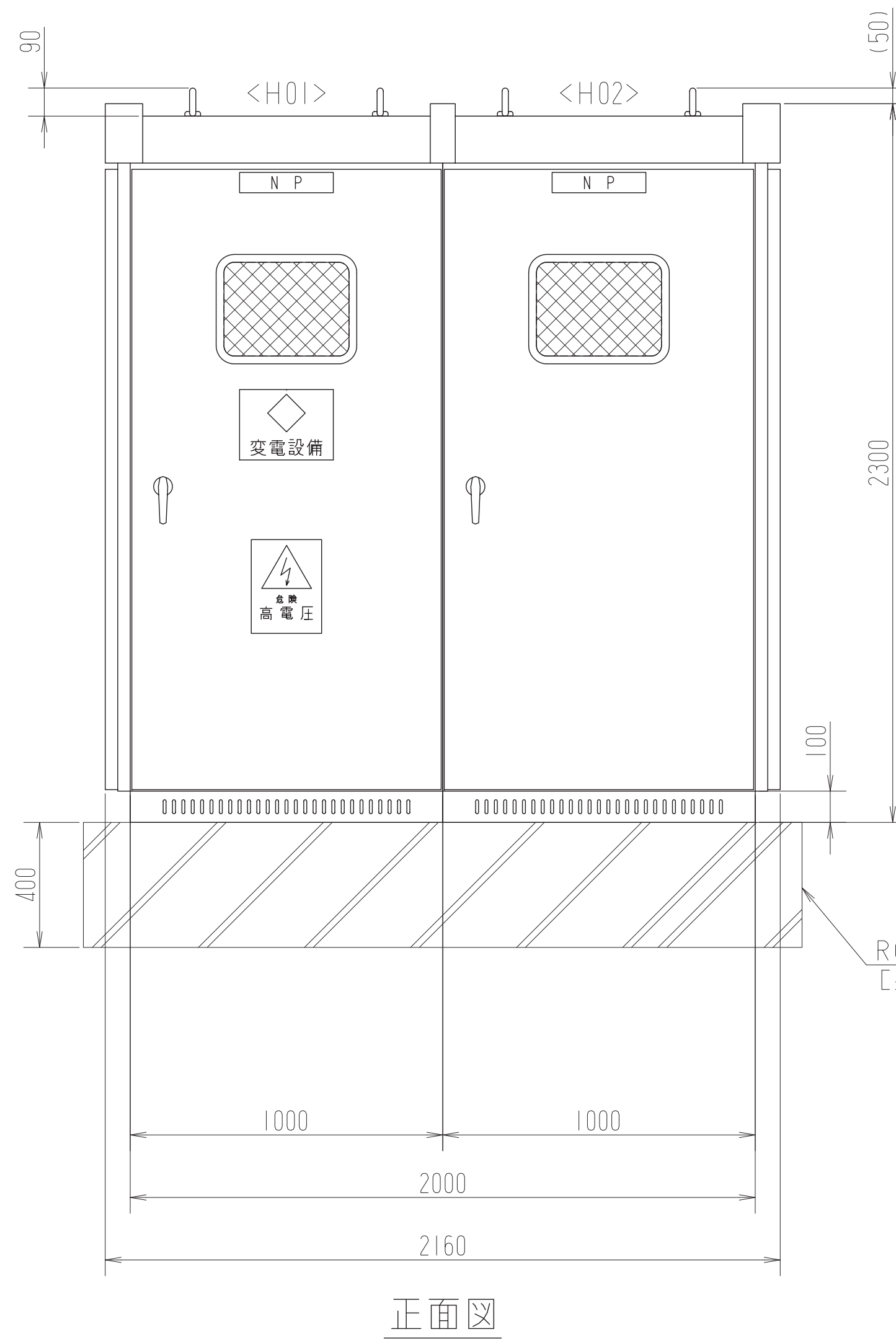
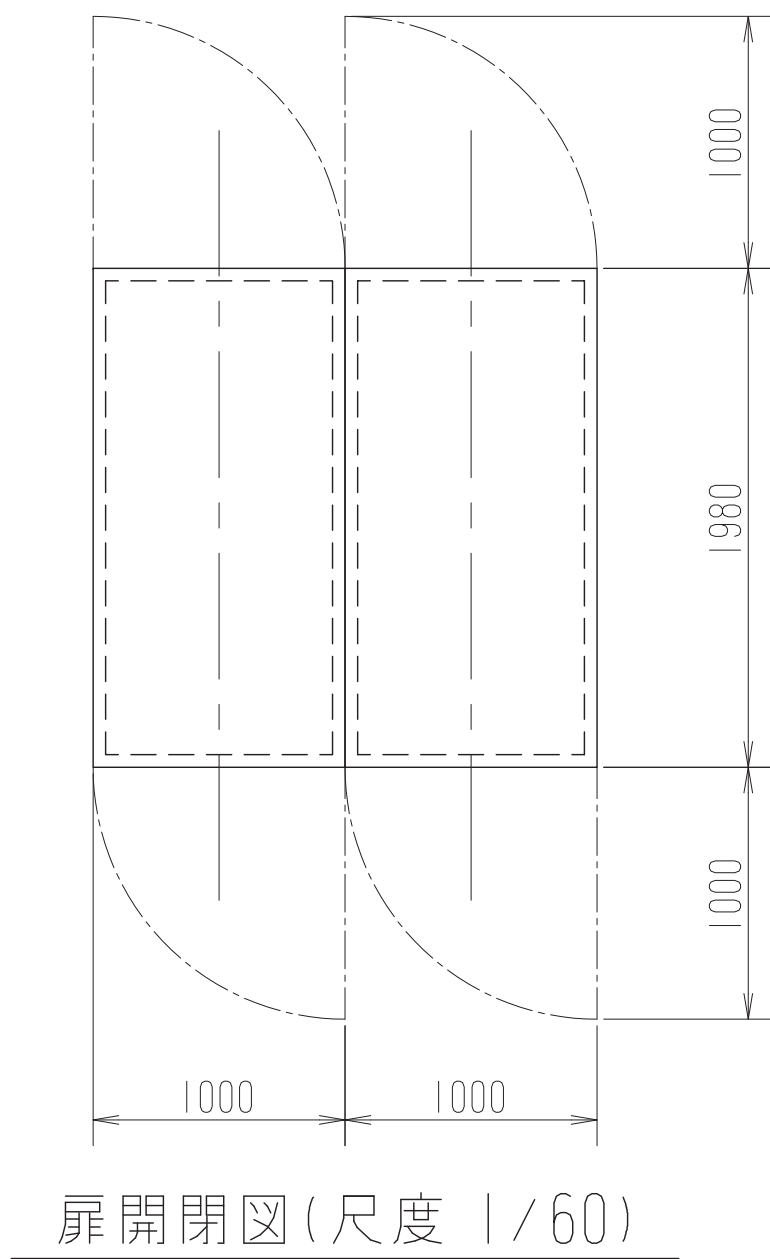
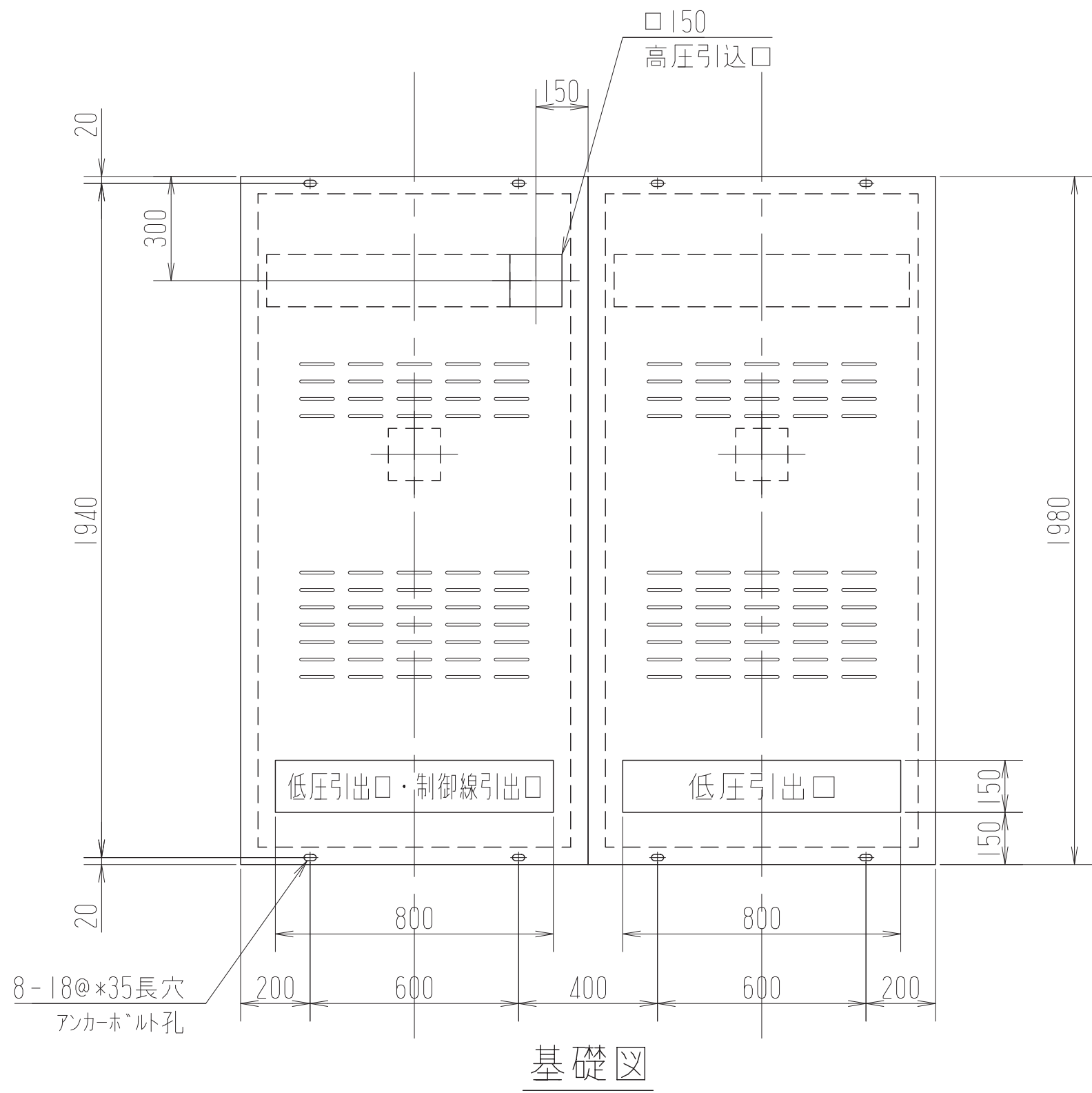
近藤 石田 瀬下



関西支店

JOB 222045

DWG A-402



凡例			
記号	名 称	仕 様	備 考
	電灯分電盤		
	手元開閉器盤		
	機器収納ボックス	別途工事	C工事
	屋外ポールコンセント	参考型番：panasonic DP100B+WK4602BK	C工事：C工事機器を示す
	プルボックス（防水型）		
	ポール灯		資図参照
	ブラケット		資図参照
	スポットライト		資図参照
	パイロットスイッチ	IP15A×1	分電盤盤面取付
	自動点滅器		
	ハンドホール	強電・弱電用900×900(中耐圧蓋付)	セパレーター付
	モニター付親機	参考型番：アイホン JP-4MED	
	外部受付用カメラ付ドアホン子機	参考型番：アイホン JP-CAR	

注記

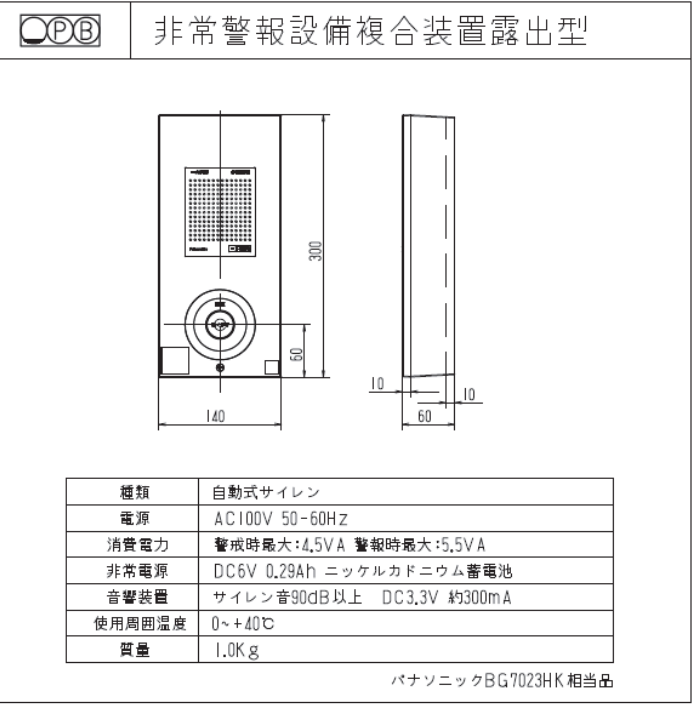
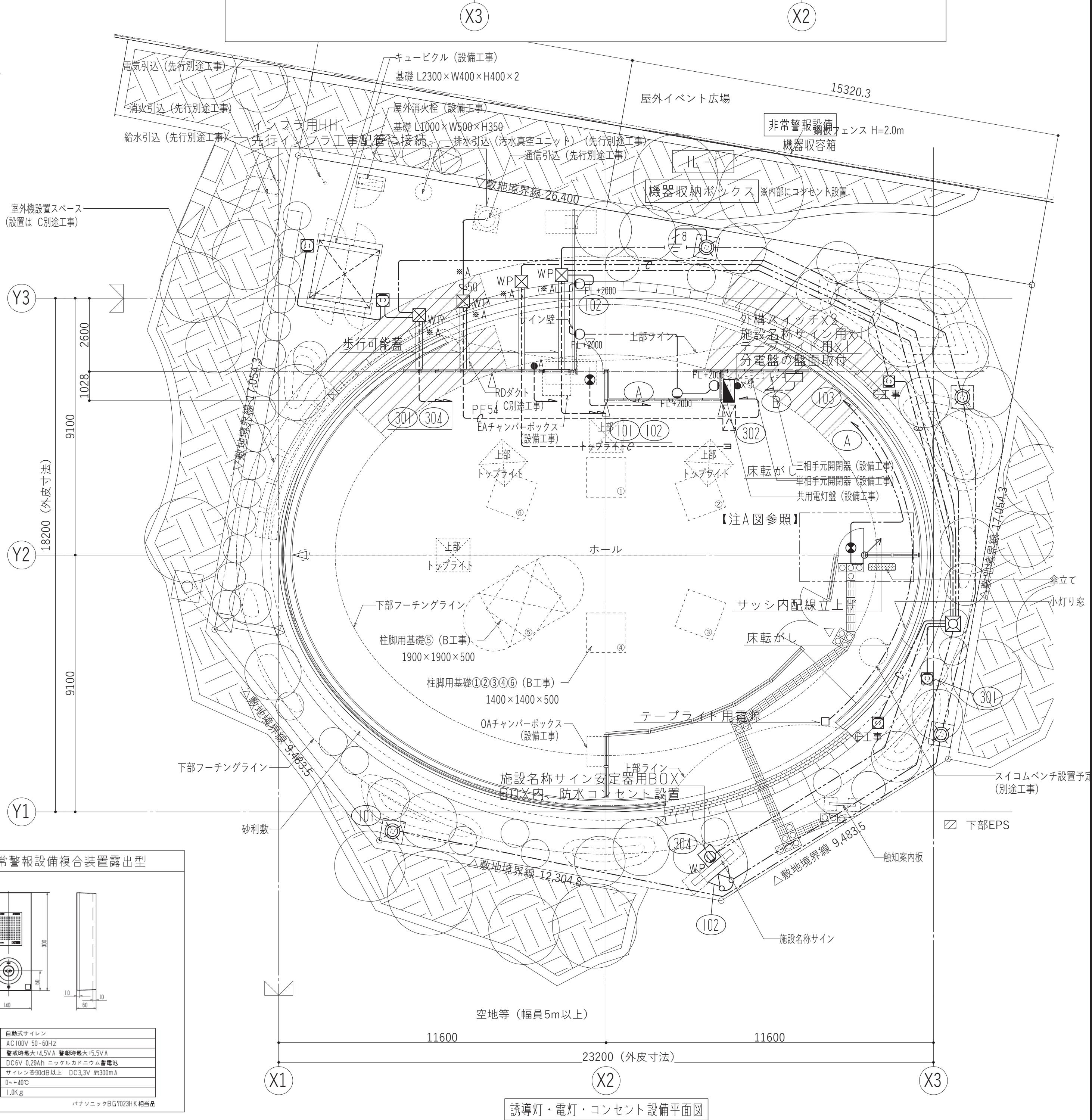
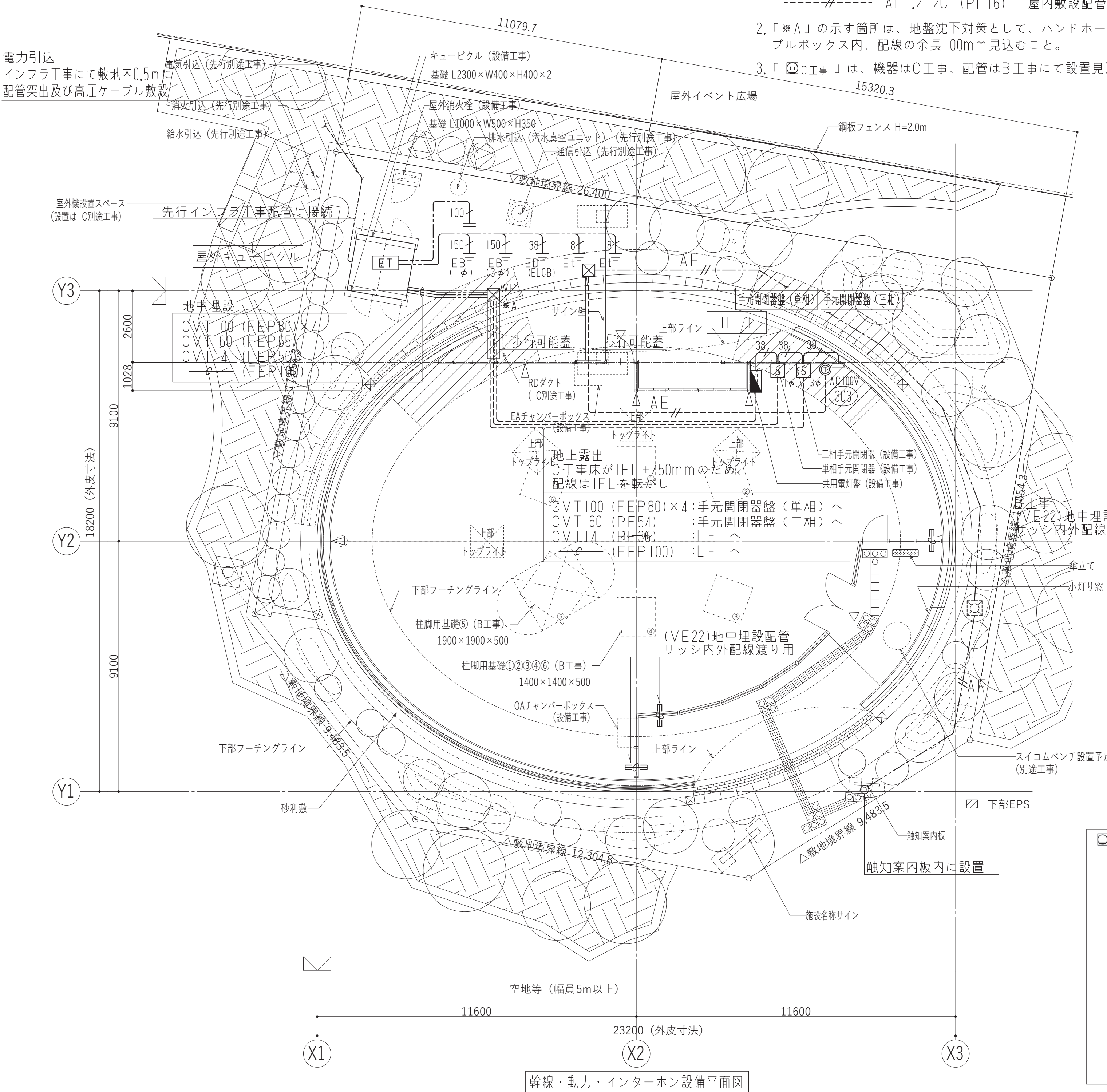
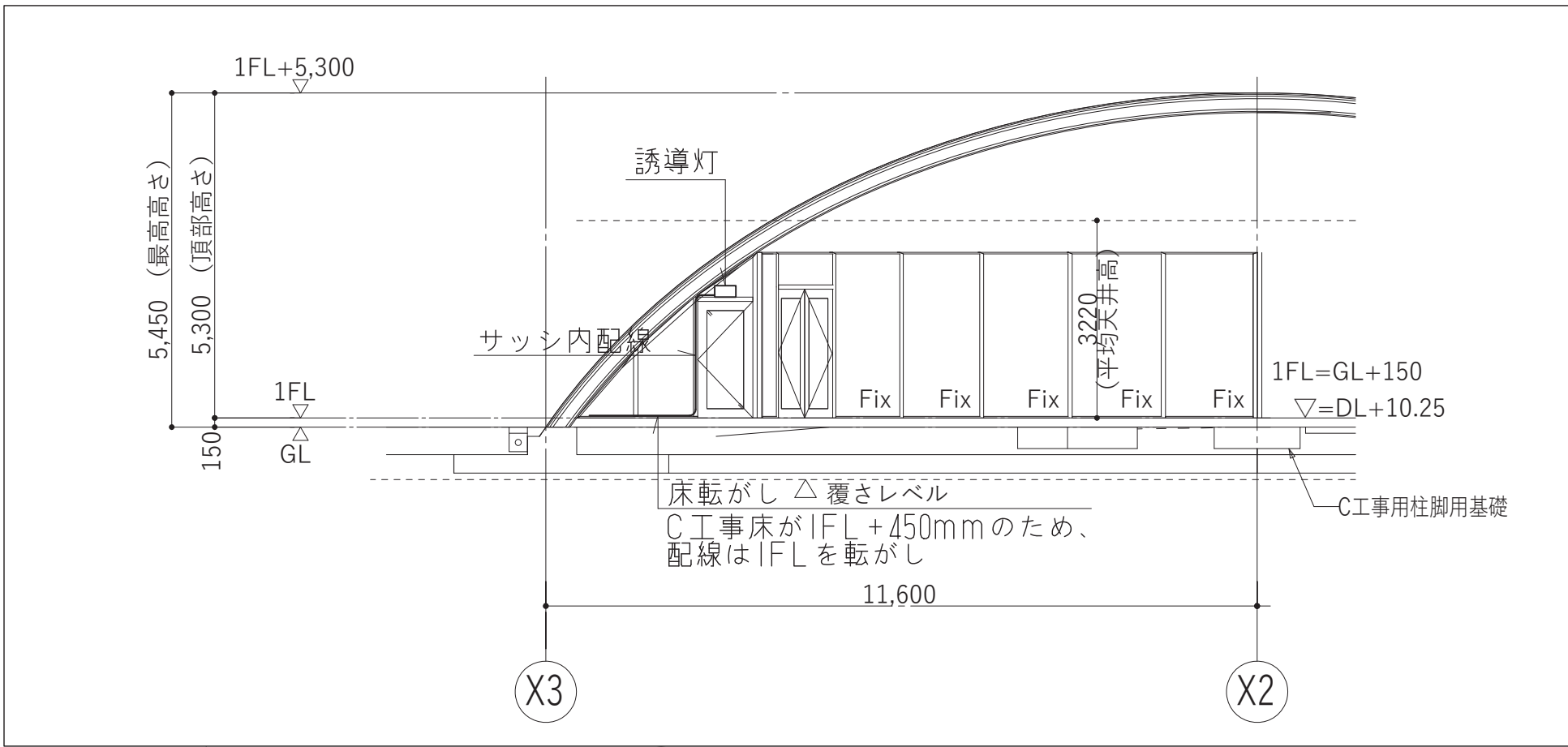
1.特記なき配管配線は下記とする。

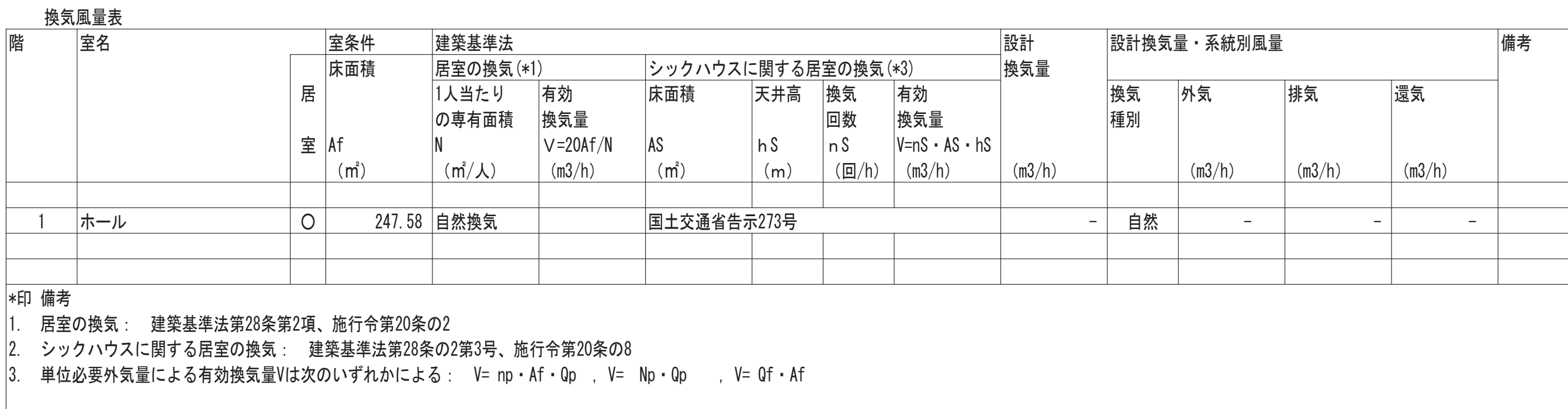
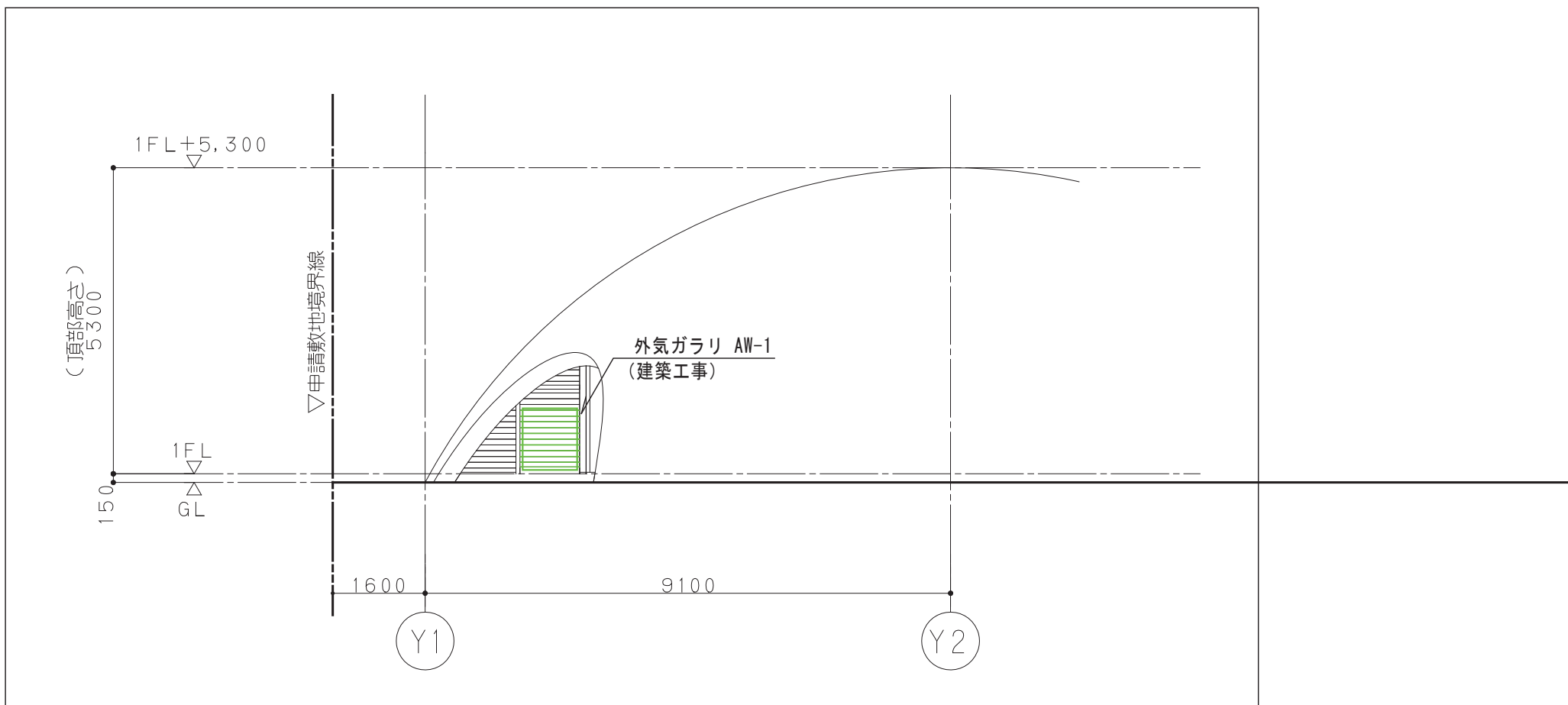
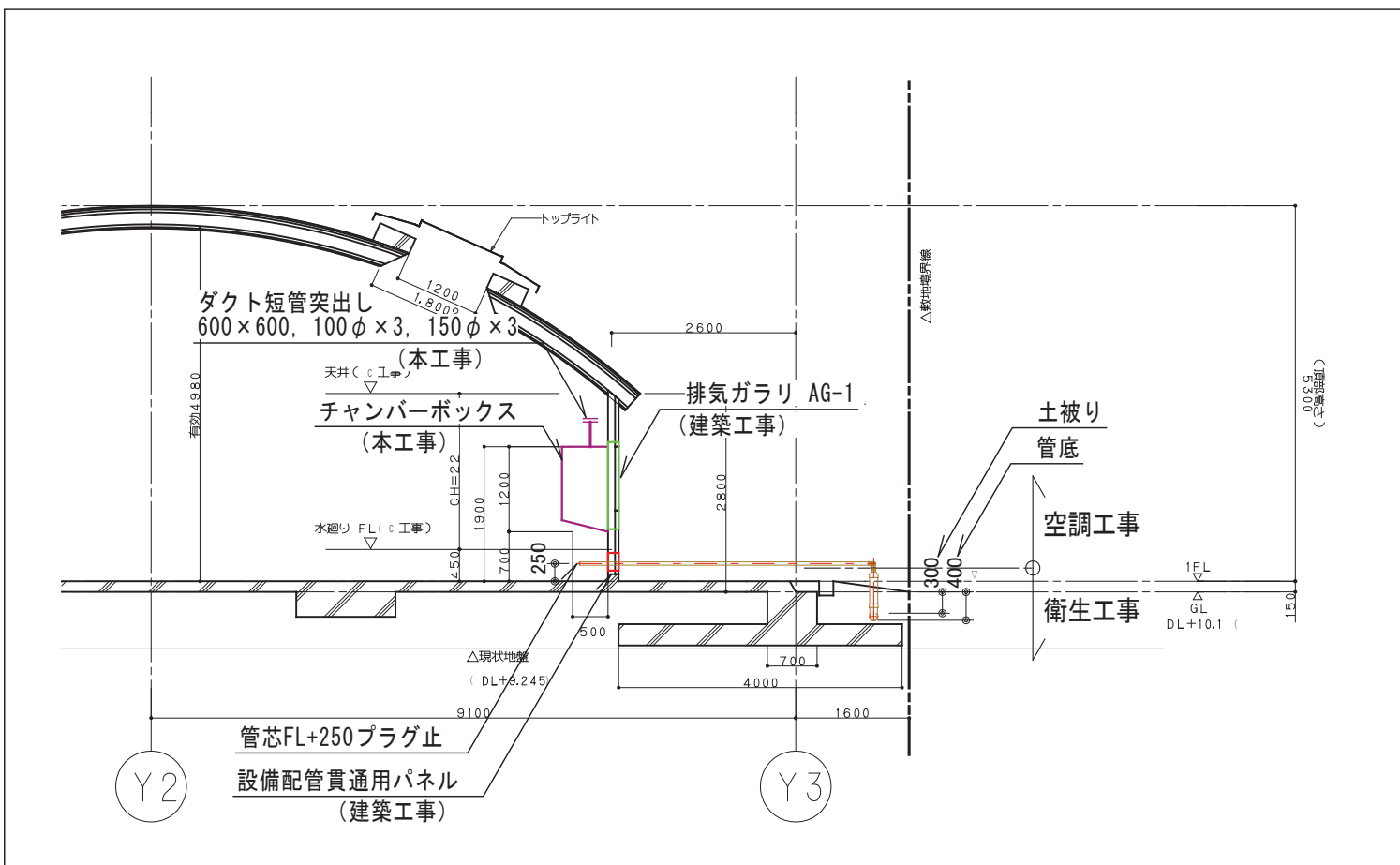
----- VVF2.0-3C (IC-E) 保護管(PF22)
----- VVF2.0-3C (IC-E) (PF22)
----- VVF2.0-3C (IC-E) (E25) 露出配管
----- CV3.5-3C (IC-E) (FEP30) 地中埋設配管
----- 150 IV150 (FEP40) 地中埋設配管
----- 38 IV38 (VE22) 地中埋設配管
----- 8 IV8 (VE19) 地中埋設配管
----- 38 IV38 (PF22) 露出配管
----- (FEP30) 地中埋設配管
----- 50 (FEP50) 地中埋設配管
----- 50 (5I) 露出配管
----- PF54 (PF54) 屋内敷設配管
----- AE// AE1.2-2C (FEP30) 地中埋設配管
----- AE// AE1.2-2C (PF16) 屋内敷設配管

2.「※A」の示す箇所は、地盤沈下対策として、ハンドホールまたはプルボックス内、配線の余長100mm見込むこと。

3.「C工事」は、機器はC工事、配管はB工事に設置見込むこと。

注A：誘導灯配線イメージ図





ガラリスト																
階室 (系統・用途)	種別	種類・サイズ または 有効開口面積		風量 Q (m3/h)	BOX・仕切板(仕) サイズ(大きさ)・個数			系統 (No.)	個数	開口率	面風速 (算出)	面風速 (基準)	ボックス 単管 GW	フィルター 取付	結露 防止付	備考
1階										(%)	(m/s)	(m/s)	@25	(F)等		
外気ガラリ(建築工事)	OA	有効	0.35 m ²	※ 2,280	944	×1066	H ×500 D	AW-1	1	35	1.8	2.5	○(外)	防虫網		
排気ガラリ(建築工事)	EA	有効	0.28 m ²	※ 2,280	804	×1022	H ×650 D	AG-1	1	35	2.3	3.5	○(外)	防虫網		
備考																
・特記なきは、鋼板製(指定色仕上)とする。 ※ 247.58 m² ÷ 3.3 m²/(h・人) = 76 人																
・外気ガラリは、点検口(遮音・断熱・防水仕様)付とする。 76 人 × 30 m²/(h・人) = 2280 m³/h																
・ガラリの面風速基準は外気2.5m/s、排気3.5m/sとする。																

凡例	名称
	外気取入ダクト
	排気ダクト
	ドレン管
	排水用フレキ

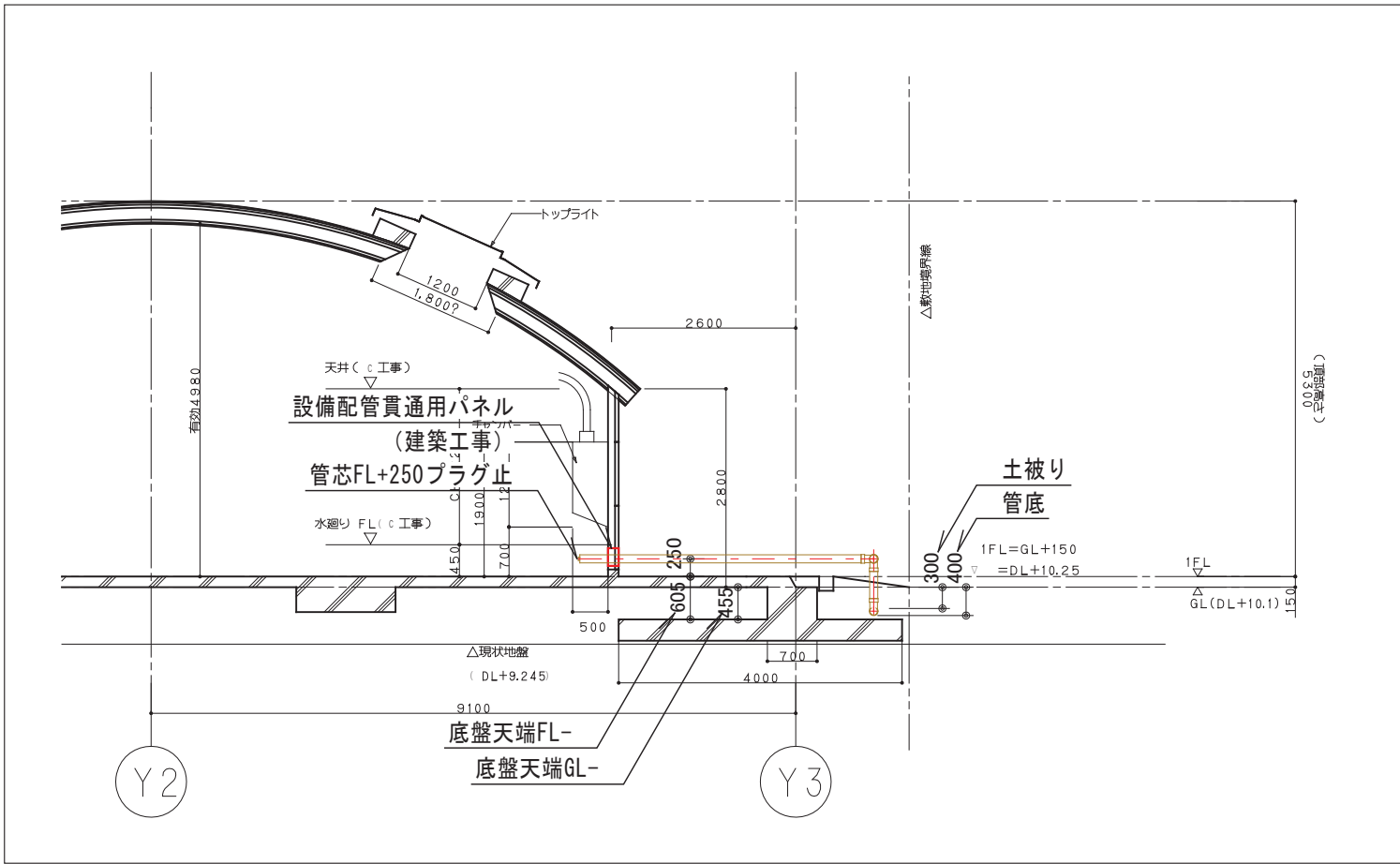
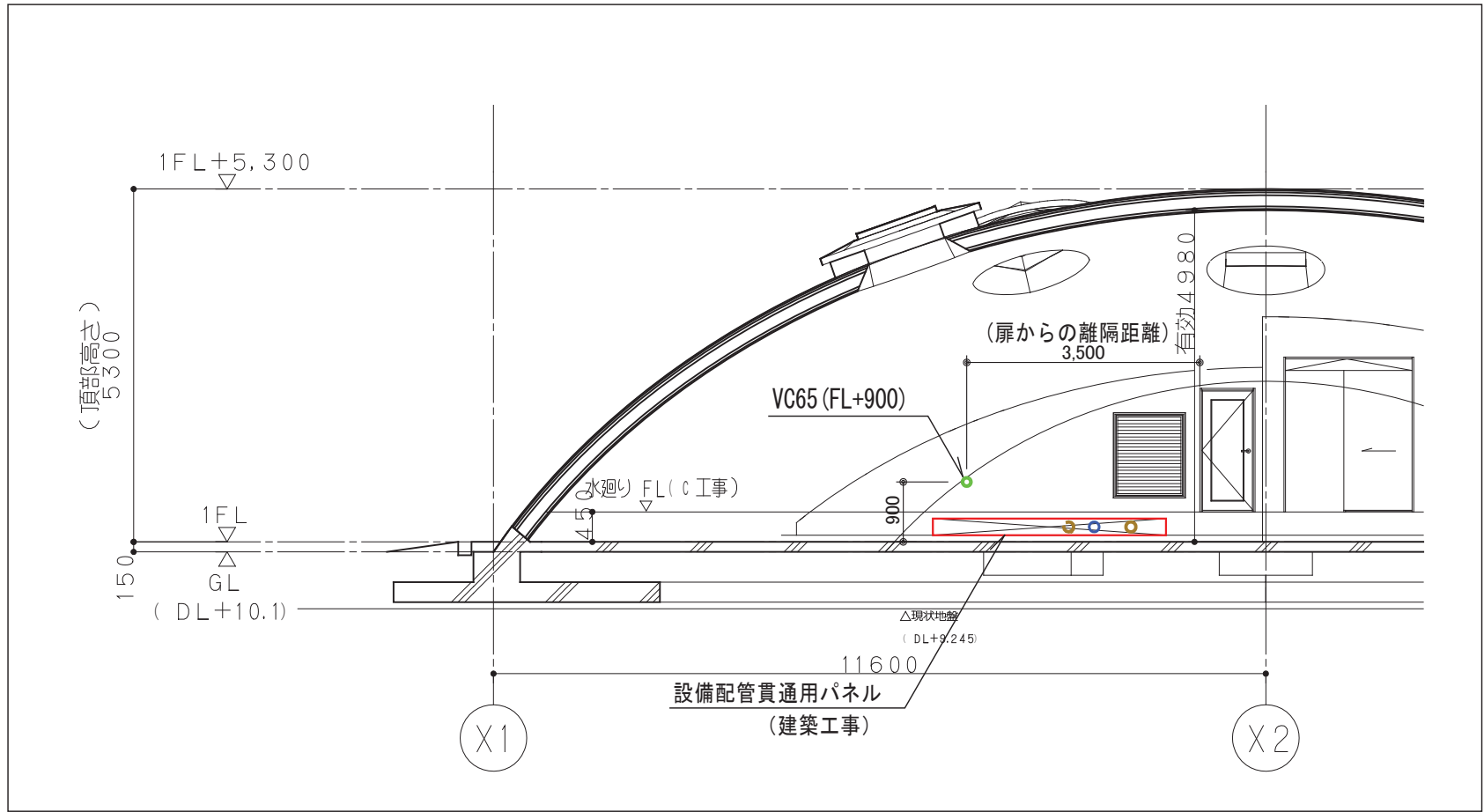
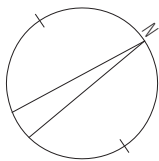
- ※1 はダクト短管止（以降別途工事（00等による逆流防止を含む））を示す。
- ※2 は配管芯FL+250mmキャップ止（以降別途工事（ドレントラップ含む））を示す。
- ※3 は汚水樹（衛生工事）に接続することを示す。
- 空調ドレン管の汚水樹（衛生工事）接続前には、沈下対策として排水用フレキを取付けること。
- 冷媒管（別途工事）用のバルブ開口は別途工事とする。

ドーム 新築工事
 空調設備
 平面図、換気風量表

SCALE	1 : 100 (A1), 200 (A3)	DATE	
部長	審査	コーディネーター	グループ
			堀江



DWG M-001

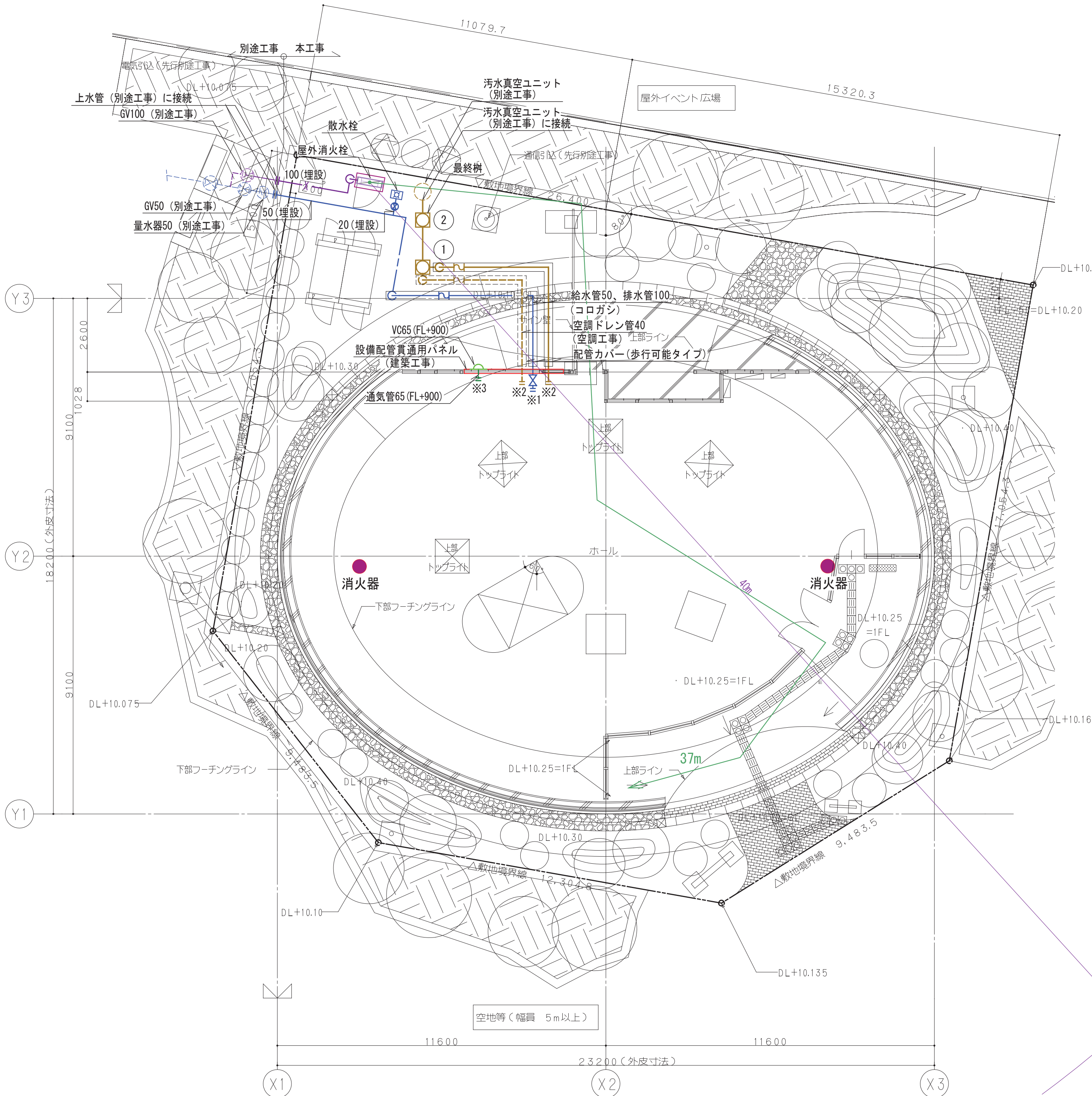


樹リスト

勾配

1/100

樹記号	会所間距離	会所間距離 (累計)	会所間落差	樹段差	注記	管底高さ GL- mm	樹仕様	蓋仕様	備考
	mm	mm	mm	mm					
1			-	50		450	塩ビ製小口径樹	塩ビ製蓋	合流
2	1,667	1,667	17			467	塩ビ製小口径樹	塩ビ製蓋	最終樹
	1,000	2,667	10			477	塩ビ製小口径樹	塩ビ製蓋	汚水真空ユニット (別途工事)



衛生機器

【消火栓類 共通事項】

- ・表示灯用ソーラーバッテリーは点灯時間はフル充電時30時間以上とする。また必要に応じて分離型とし、日当たりの良い場所に設置のこと。
- ・衝突防止のため保護ガードポールを設置する。

記号 No.	機器名称 (系統・用途)	機器仕様・付属品	付属品	取付・仕上	個数
—	屋外消火栓	型式：表示灯など収納箱：併設 材質・仕上：銅板（ラシン焼付け塗装・指定色） 寸法（屋外消火栓格納箱）：850W×2300×1500H	ホース：65φ×20m×2本（布ホース） バルブ形式（棒状） バルブ：65φ 屋根・水抜穴・表示灯収納箱扉に防水パッキン材取付 表示灯はソーラーバッテリーとする	据付：露出 架台：鋼製架台150H 基礎：コンクリート基礎1000×500×200H（建築工事）	1
—	消火器	型式：粉末ABC消火器10型 寸法： 薬剤容量：3 kg	材質：リサイクルシール貼付済 置台共 置台：UFB-3F-2401（置き式）（ユニオン）	据付：床置	2

衛生器具

器具名称	型式	参考型番	電源	外構	1F														備考
					合計														
単水栓	カップリング付キー式散水栓 樹脂製ボックス共	T28KUNH13	1φ100V	1	1														

※標準付属品一式を含むものとする。

凡例	名称	凡例	名称
	給水管		バルブ
	汚水管		バルブ(ボックス共)
			小口径樹
	通気管		屋外消火栓
	屋外消火栓管		量水器
	給排水用フレキ		通気金物
			散水栓 (BOX共)

注記

- ※1 は配管芯FL+250mmGV止（以降別途工事）を示す。
- ※2 は配管芯FL+250mmキャップ止（以降別途工事）を示す。
- ※3 は配管芯FL+900mmキャップ止（以降別途工事）を示す。
- 給水管及び排水管には沈下対策（沈下量100mm想定）としてフレキシブル継手を取付けること。

ドーム 新築工事

衛生設備

平面図、機器表、器具表

SCALE 1 : 100 (A1) , 200 (A3)

DATE 2024-01-16

図面 1/1

製図 1/1

校核 1/1

確認 1/1

ドーム 新築工事

衛生設備

平面図、機器表、器具表

SCALE 1 : 100 (A1) , 200 (A3)

DATE 2024-01-16

図面 1/1

製図 1/1

校核 1/1

確認 1/1



関西支店

JOB 222045

DWG P-001

265842

寛井 康昭

1/1